

重点事業の自己評価

報告書

(平成 29 年度自己評価シート取りまとめ)

平成 30 年 8 月

仙 台 市

目次

1 重点状況の自己評価の概要	1
2 重点事業 自己評価シート	
Ⅰ 都市像の実現を牽引する4つの重点政策	
1 学びを多彩な活力につなげる都市づくり	
(1) 学びを楽しむミュージアム都市の推進	4
(2) 学都・仙台の資源を多面的に生かすまちづくり	6
(3) 地域と共に育む子どもたちの学ぶ力	7
2 地域で支え合う心豊かな社会づくり	
(1) 共生・健康社会づくり	10
(2) 子育て応援社会づくり	14
(3) 安全で安心な市民の暮らしを支える取り組み	17
3 自然と調和した持続可能な都市づくり	
(1) 低炭素・資源循環都市づくり	21
(2) 自然と調和した杜の都の都市個性を高める土地利用の推進	24
(3) 機能集約と地域再生による持続的な発展を支える都市構造の形成	26
(4) 誰もが利用しやすく都市活力を高める交通基盤づくり	28
4 人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり	
(1) 地域産業の飛躍と競争力の拡大	29
(2) 東北の交流人口の拡大への戦略的取り組み	32
(3) 未来への活力を創る産業の育成・誘致	36
(4) 新たな都市軸の形成と活用	39
Ⅱ 復興まちづくりを進める3つの政策方針	
1 暮らしや経済の再建に向けた取り組み	41
2 安全・安心確保の取り組み	45
3 震災の経験と教訓の継承・発信に向けた取り組み	47
Ⅲ 都市像の実現に向けた4つの経営方針	
1 未来を創る市民力の拡大と新しい市民協働の推進	49
2 地域特性に応じたきめ細かな地域づくりの推進	51
3 地方の時代を先導する市役所への自己変革	55
4 公共施設の経営改革	56

重点事業の自己評価の概要

1 趣旨

仙台市実施計画（平成28年度－平成30年度）は、仙台市基本計画に掲げる目標の達成に加え、東日本大震災における長期的視点により取り組むべき課題に対し、3年間に取り組む施策を明らかにしたものであり、施策の着実な推進とともに実効性の確保に向けた取り組みが不可欠です。そのため、仙台市実施計画の進行管理については、施策目標の達成状況等にかかる評価・点検を毎年度実施し、その結果も考慮して、次年度への予算への適切な反映に努めることとしております。

この度、仙台市実施計画に掲げる重点事業について、平成29年度における進捗状況の自己評価を行い、取りまとめました。

2 評価方法

仙台市実施計画「第2章 重点的な取り組み」に位置づけた事業（123事業）について、平成29年度に実施した事業内容を整理し、項目ごとに「重点事業 自己評価シート」による評価を行いました。

3 各事業の進捗状況

各事業の進捗状況については、実施計画において定めた指標の達成状況や定性目標に向けた進捗状況を踏まえた自己評価を行い、下記のとおり、◎～×を付しています。

- ◎… 目標の達成に向け、予定を上回る成果があり、進捗状況が良好であると判断されるもの。
- … 目標の達成に向け、予定どおり進んでおり、進捗状況が順調であると判断されるもの。
- △… 目標の達成に向け、一部で予定どおり進んでおらず、やや遅れが生じていると判断されるもの。
- ×… 目標の達成に向け、予定どおり進んでおらず、進捗状況が遅れていると判断されるもの。

4 評価結果の概要

各事業は概ね「○」の評価となっており、全体としては目標の達成に向けて着実に進捗しています。

予定を上回る成果を上げた事業は、次の7事業です。

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ○放課後子ども教室推進事業 | ○幼稚園の保育機能拡充支援事業 |
| ○せんだいE-Action推進事業 | ○農食ビジネス推進事業 |
| ○インバウンド推進事業 | ○企業立地促進事業 |

II 復興まちづくりを進める3つの政策方針

- 防災環境都市づくり推進事業

遅れが生じた事業は、次の14事業です。

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

- 確かな学力育成事業
- 障害者福祉センター整備事業
- 市民連携農業推進事業
- 農業経営体育成支援事業
- 観光プロモーション推進事業
- 荒井駅北土地区画整理事業
- 市民健康づくり推進事業
- 低炭素都市づくり推進事業
- 若林区役所と薬師堂駅を基軸とした賑わい創出事業
- コンベンション誘致事業
- 西部地区観光振興事業

II 復興まちづくりを進める3つの政策方針

- 緊急輸送道路防災対策事業
- 震災復興メモリアル事業
- 東部復興道路整備事業

なお、「いじめ防止対策推進事業」は、平成29年度において様々な対策を講じたところですが、現在、いじめ問題等対策調査特別委員会や仙台市いじめ対策等検証専門家会議による施策の検証及び効果的ないじめ防止対策の在り方の検討が行われていることを勘案し、進捗状況の表記は「－」としています。

評価の概要は、次の表のとおりです。また、詳しくは各自己評価シートをご参照ください。

表 重点事業の自己評価結果の概要

項目	自己評価結果	備考
I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策		
1 学びを多彩な活力につなげる都市づくり		
(1) 学びを楽しむミュージアム都市の推進	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。	
(2) 学都・仙台の資源を多面的に生かすまちづくり	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。	
(3) 地域と共に育む子どもたちの学ぶ力	個別の事業において進捗状況は異なるが、目標の達成に向けて概ね着実に進捗している。 なお、「いじめ防止対策推進事業」は、平成 29 年度において様々な対策を講じたところであるが、現在、いじめ問題等対策調査特別委員会や仙台市いじめ対策等検証専門家会議による施策の検証及び効果的ないじめ防止対策の在り方の検証が行われていることを勘案し、進捗状況の表記は「-」としている。	△:確かな学力育成事業 一:いじめ防止対策推進事業 ◎:放課後子ども教室推進事業
2 地域で支え合う心豊かな社会づくり		
(1) 共生・健康社会づくり	一部で遅れが生じている事業があるが、目標の達成に向けて概ね着実に進捗している。	△:市民健康づくり推進事業 △:障害者福祉センター整備事業
(2) 子育て応援社会づくり	一部で予定を上回る成果を上げた事業があり、目標の達成に向け着実に進捗している。	◎:幼稚園の保育機能拡充支援事業
(3) 安全で安心な市民の暮らしを支える取り組み	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。	
3 自然と調和した持続可能な都市づくり		
(1) 低炭素・資源循環都市づくり	個別の事業において進捗状況は異なるが、目標の達成に向け概ね着実に進捗している。	△:低炭素都市づくり推進事業 ◎:せんだいE-Action 推進事業
(2) 自然と調和した杜の都の都市個性を高める土地利用の推進	一部で遅れが生じている事業があるが、目標の達成に向けて概ね着実に進捗している。	△:市民連携農業推進事業
(3) 機能集約と地域再生による持続的な発展を支える都市構造の形成	一部で遅れが生じている事業があるが、目標の達成に向けて概ね着実に進捗している。	△:若林区役所と薬師堂駅を基軸とした賑わい創出事業
(4) 誰もが利用しやすい都市活力を高める交通基盤づくり	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。	
4 人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり		
(1) 地域産業の飛躍と競争力の拡大	個別の事業において進捗状況は異なるが、目標の達成に向け概ね着実に進捗している。	△:農業経営体育成支援事業 ◎:農食ビジネス推進事業
(2) 東北の交流人口の拡大への戦略的取り組み	個別の事業において進捗状況は異なるが、目標の達成に向け概ね着実に進捗している。	△:コンベンション誘致事業 △:観光プロモーション推進事業 △:西部地区観光振興事業 ◎:インバウンド推進事業
(3) 未来への活力を創る産業の育成・誘致	一部で予定を上回る成果を上げた事業があり、目標の達成に向け着実に進捗している。	◎:企業立地促進事業
(4) 新たな都市軸の形成と活用	一部で遅れが生じている事業があるが、目標の達成に向けて概ね着実に進捗している。	×:荒井駅北土地区画整理事業
II 復興まちづくりを進める3つの政策方針		
1 暮らしや経済の再建に向けた取り組み		
2 安全・安心確保の取り組み		
3 震災の経験と教訓の継承・発信に向けた取り組み		
4 新たな都市軸の形成と活用		
III 都市像の実現に向けた4つの経営方針		
1 未来を創る市民力の拡大と新しい市民協働の推進		
2 地域特性に応じたきめ細かな地域づくりの推進		
3 地方の時代を先導する市役所への自己変革		
4 公共施設の経営改革		

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

1. 学びを多彩な活力につなげる都市づくり

(1) 学びを楽しむミュージアム都市の推進

目標	まち全体が一つのミュージアムとなって、市民や訪れた人が学びを楽しみ豊かな時間を過ごすことができる「ミュージアム都市」づくりを市民協働で推進します。					
総括	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。					
個別事業名	①文化振興事業 ②せんだい・アート・ノード・プロジェクト事業 ③ミュージアム連携事業 ④八木山動物公園総合整備事業					
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績		
				H28年度	H29年度	H30年度
	仙台クラシックフェスティバルの来場者数(延べ人数)	平成30年度 37,000人を維持	平成27年度 実績37,000人	38,000人	39,300人	
	市民の文化活動支援・助成・協力年間件数	平成30年度 360件	平成26年度 実績348件	371件	387件	
SMMA参加の市有施設の年間利用者数	平成30年度 120万人を維持	平成27年度 実績120万人	1,255,114人	1,232,730人		
実施計画 における 年次計画	①文化振興事業					
	H28年度	H29年度	H30年度			
	文化振興事業における各取り組みの企画、実施、評価・改善					
	②せんだい・アート・ノード・プロジェクト事業					
	H28年度	H29年度	H30年度			
	事業の企画・実施・検証					
	③ミュージアム連携事業					
	H28年度	H29年度	H30年度			
	共同広報事業、ミュージアム活性化事業、地域の知的資源活用推進事業					
	④八木山動物公園総合整備事業					
	H28年度	H29年度	H30年度			
	アイアイ導入					
	アイアイ・マダガスカル館整備					
	(仮称)ふれあい動物園整備					
	普及啓発活動・動物繁殖・環境エンリッチメント整備・情報発信等					

	個別事業名	H29年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①文化振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「杜の都の演劇祭」を開催(総入場者数1,174人) ・「せんだい短編戯曲賞」や「まなぶ☆からだ(演劇と表現のワークショップ)」を実施(総参加者68人) ・市民能楽講座を実施(総入場者数538人) ・2020東京オリンピック・パラリンピックを契機とした文化プログラムの企画提案を公募し、「地域歴史文化発掘・活用事業」を採択・実施 ・内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局が進める「beyond2020プログラム」の認証(7件の事業) ・(公財)仙台市市民文化事業団に対する支援や助成を通して、市民の文化・芸術活動を促進(支援177件、助成138件、協力72件) ・復興公営住宅における音楽による交流・心の復興支援や、「みやぎの『花は咲く』合唱団」の活動支援を実施 	○
	②せんだい・アート・ノード・プロジェクト事業	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台インプロGRESS/みんなの橋プロジェクトの活動報告展などの開催 ・ワケあり雑がみ部を立ち上げ、「せんだい資源ナール」にて成果発表(7,862人来場) ・東北リサーチとアートセンターの設置と展覧会などの開催(計2,129人来場) ・青少年の生きる技術としてのゲージツ学校(2コース各3回実施) ・アーティストや専門家によるトークイベントを開催(14回/計435人参加) ・印刷物発行(年2回)、自由参加型公開ミーティング開催(2回) 	○
	③ミュージアム連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ポータルサイト「見験楽学 仙台・宮城ミュージアム情報局」運営(参加館イベント情報等 計186件掲載、年間アクセス件数341,625件) ・フリーペーパー「旬の見験楽学便」発行(年3回/37,000部) ・夏のミュージアム情報「仙台・宮城ミュージアム」発行(1,500部) ・SMMA参加館を紹介する日・英リーフレット発行(10,000部) ・SMMAクロスイベントの実施(4事業) ・周遊イベント「SMMA見験楽学ツアー」(5件) ・共同イベント「ミュージアムユニバース」(2,389人来場) 	○
	④八木山動物公園総合整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふれあいの丘」供用開始(平成29年7月1日) ・カンムリキツネザルの導入手続、飼育舎(仮称マダガスカル館)の設計着手 ・動物園長寿命化計画策定着手 ・JICA草の根技術協力事業の実施 <p>※希少動物導入については、導入予定のアイアイが死亡したことにより、同時に導入予定であったカンムリキツネザルのみ手続を進めている。</p>	○
主な課題及び今後の対応	<p>【文化振興事業】 市民や地域が文化芸術とつながる仕組みづくりや様々な分野との連携にも引き続き積極的に取り組む。</p> <p>【せんだい・アート・ノード・プロジェクト事業】 みんなの橋プロジェクトについては、国内外から注目される橋の機能を持ったアート作品の制作に向け、引き続き地域や関係各所と連携して進める。</p> <p>【ミュージアム連携事業】 広報事業に引き続き取り組み、地域にある文化資源の可視化や活用の促進を図るようなイベントや情報発信に努める。</p> <p>【八木山動物公園総合整備事業】 カンムリキツネザルの飼育方法と飼育環境のノウハウを獲得する。</p>		

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策						
1. 学びを多彩な活力につなげる都市づくり						
(2) 学都・仙台の資源を多面的に生かすまちづくり						
目標	学都・仙台としての知的資源集積を多面的に生かすまちづくりを進め、都市づくりや地域の課題解決、雇用の場の創出、大学等や学生による市民力の発揮につなげます。					
総括	全ての事業において、目標の達成に向けて着実に進捗している。					
個別事業名	①学都推進事業 ②大学連携地域づくり事業					
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績		
				H28年度	H29年度	H30年度
	サテライトキャンパス公開講座の受講者数(延べ人数)	平成30年度 2,100人	平成22～26年度 実績 平均2,061人/年	1,866人	2,808人	
実施計画における年次計画	①学都推進事業					
	H28年度		H29年度		H30年度	
	学都仙台コンソーシアムの活動支援					
	②大学連携地域づくり事業					
H28年度		H29年度		H30年度		
大学連携地域づくり支援・助成実施						
まちづくり同盟活動支援・助成実施						
個別事業内容	個別事業名	H29年度の実績				進捗状況
	①学都推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学都仙台コンソーシアムサテライトキャンパス公開講座(全50コマ、受講者数1,977人) ・復興大学公開講座(全30コマ、受講者数831人) 				○
	②大学連携地域づくり事業	<ul style="list-style-type: none"> ・加茂地区の「加茂ハッピータウン活動」を地域力向上支援事業における助成事業として選定、大学と連携し高齢者の見守りの方法についての勉強会の開催や子育て支援に関する講話を行うなどの事業を実施 ・地域課題の解決や特色ある地域づくりに取り組む学生団体を支援(いずみ絆プロジェクト事業)するとともに、当該学生団体間の交流と連携を促進するための意見交換会を実施 				○
主な課題及び今後の対応		<p>【学都推進事業】 平成29年度は、宮城県から補助を受け、復興大学の公開講座を再開した。今後は、安定した受講者数が確保できるよう、講座数の増加などに向けた検討を行う。 ※過去の実績 H23:2,292人、H24:1,927人、H25:1,896人、H26:2,241人、H27:2,792人</p> <p>【大学連携地域づくり事業】 大学連携地域づくり事業については、加茂地区以外での大学連携による課題解決を図ることができるよう、地域状況の把握、大学を活用した地域づくりの推進に継続して取り組む。</p>				

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

1. 学びを多彩な活力につなげる都市づくり

(3) 地域と共に育む子どもたちの学ぶ力

目標	家庭・地域・学校や関係機関等が連携し、子供の教育をめぐる問題等への支援体制や確かな学力を育む環境を整えるとともに、子どもたちが学ぶ意義や楽しさを知り、学ぶ喜びを地域で体験できる機会の充実を進めます。						
総括	個別の事業において進捗状況は異なるが、目標の達成に向けて概ね着実に進捗している。なお、「いじめ防止対策推進事業」は、平成29年度において様々な対策を講じたところであるが、現在、いじめ問題等対策調査特別委員会や仙台市いじめ対策等検証専門家会議による施策の検証及び効果的ないじめ防止対策の在り方の検討が行われていることを勘案し、進捗状況の表記は「－」としている。						
個別事業名	①確かな学力育成事業 ②いじめ防止対策推進事業 ③学校教育施設整備事業 ④仙台自分づくり教育推進事業 ⑤放課後子ども総合プラン推進事業 ⑥放課後子ども教室推進事業 ⑦学校支援地域本部事業						
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績			
				H28年度	H29年度	H30年度	
	標準学力検査(基礎的知識)の正答率が目標値と同等以上の小学校6年生及び中学校3年生の割合	平成30年度 国語78% 算数又は数学72%	平成27年度 国語76.1%/76.7% (小6/中3) 算数・数学 68.5%/67.4% (小6/中3)	国語 72.3%/72.8% (小6/中3) 算数・数学 64.9%/67.2% (小6/中3)	国語 84.0%/86.9% (小6/中3) 算数・数学 59.1%/70.4% (小6/中3)		
	「自分の夢をかなえるために、たくさん勉強する」と思う児童生徒の割合	平成30年度 小6・87% 中3・78%	平成27年度 小6・84.0% 中3・75.6%	小6:84.4% 中3:76.1%	小6:84.9% 中3:78.2%		
	放課後子ども教室参加児童数	平成30年度 64,700人	平成26年度 59,781人	68,782人	71,406人		
学校支援ボランティア延べ人数	平成30年度 11万人	平成27年度 9万人	97,103人	101,274人			

実施計画 における 年次計画	①確かな学力育成事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">新「確かな学力育成プラン」策定</td> </tr> <tr> <td colspan="3">小中学校接続・連携に関する調査研究</td> </tr> <tr> <td colspan="3">標準学力検査等、教科指導エキスパート、学力サポートコーディネーター、家庭学習ノート、小1生活・学習サポート事業</td> </tr> </tbody> </table>	H28年度	H29年度	H30年度	新「確かな学力育成プラン」策定			小中学校接続・連携に関する調査研究			標準学力検査等、教科指導エキスパート、学力サポートコーディネーター、家庭学習ノート、小1生活・学習サポート事業					
	H28年度	H29年度	H30年度														
	新「確かな学力育成プラン」策定																
	小中学校接続・連携に関する調査研究																
	標準学力検査等、教科指導エキスパート、学力サポートコーディネーター、家庭学習ノート、小1生活・学習サポート事業																
	②いじめ防止対策推進事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">全市立中学校等に「いじめ対策専任教諭」等の配置</td> </tr> <tr> <td colspan="3">「24時間いじめ相談専用電話」等相談体制の充実</td> </tr> <tr> <td colspan="3">いじめ防止「ぎずな」キャンペーン等の啓発活動の展開</td> </tr> <tr> <td colspan="3">「いじめ不登校対応支援チーム」等による、いじめ対応支援</td> </tr> </tbody> </table>	H28年度	H29年度	H30年度	全市立中学校等に「いじめ対策専任教諭」等の配置			「24時間いじめ相談専用電話」等相談体制の充実			いじめ防止「ぎずな」キャンペーン等の啓発活動の展開			「いじめ不登校対応支援チーム」等による、いじめ対応支援		
	H28年度	H29年度	H30年度														
全市立中学校等に「いじめ対策専任教諭」等の配置																	
「24時間いじめ相談専用電話」等相談体制の充実																	
いじめ防止「ぎずな」キャンペーン等の啓発活動の展開																	
「いじめ不登校対応支援チーム」等による、いじめ対応支援																	
③学校教育施設整備事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩切小学校増築工事</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(仮称) 広瀬第二中学校・実施設計</td> <td colspan="2">建設工事</td> </tr> <tr> <td>(仮称) 七郷第二小学校・基本設計</td> <td>実施設計</td> <td>建設工事</td> </tr> </tbody> </table>	H28年度	H29年度	H30年度	岩切小学校増築工事			(仮称) 広瀬第二中学校・実施設計	建設工事		(仮称) 七郷第二小学校・基本設計	実施設計	建設工事				
H28年度	H29年度	H30年度															
岩切小学校増築工事																	
(仮称) 広瀬第二中学校・実施設計	建設工事																
(仮称) 七郷第二小学校・基本設計	実施設計	建設工事															
④仙台自分づくり教育推進事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">「仙台自分づくり教育」事業の展開</td> </tr> <tr> <td colspan="3">「スチューデントシティ」全小学校実施</td> </tr> <tr> <td colspan="3">「ファイナンスパーク」全中学校実施</td> </tr> </tbody> </table>	H28年度	H29年度	H30年度	「仙台自分づくり教育」事業の展開			「スチューデントシティ」全小学校実施			「ファイナンスパーク」全中学校実施						
H28年度	H29年度	H30年度															
「仙台自分づくり教育」事業の展開																	
「スチューデントシティ」全小学校実施																	
「ファイナンスパーク」全中学校実施																	
⑤放課後子ども総合プラン推進事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">放課後子ども総合プラン運営委員会の開催</td> </tr> <tr> <td colspan="3">サテライト室の整備</td> </tr> </tbody> </table>	H28年度	H29年度	H30年度	放課後子ども総合プラン運営委員会の開催			サテライト室の整備									
H28年度	H29年度	H30年度															
放課後子ども総合プラン運営委員会の開催																	
サテライト室の整備																	
⑥放課後子ども教室推進事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">放課後子ども教室推進事業の継続・拡充</td> </tr> </tbody> </table>	H28年度	H29年度	H30年度	放課後子ども教室推進事業の継続・拡充												
H28年度	H29年度	H30年度															
放課後子ども教室推進事業の継続・拡充																	
⑦学校支援地域本部事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全中学校区へ本部設置</td> <td colspan="2">本部運営・質の向上</td> </tr> </tbody> </table>	H28年度	H29年度	H30年度	全中学校区へ本部設置	本部運営・質の向上											
H28年度	H29年度	H30年度															
全中学校区へ本部設置	本部運営・質の向上																

	個別事業名	H29年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①確かな学力育成事業	<ul style="list-style-type: none"> 標準学力検査(基礎的知識)における正答率が目標値と同等以上の児童生徒の割合が、75%を超えた教科【10教科/28教科】⇒小3(国・算)、小4(社・算)、小5(国)、小6(国)、中1(国)、中2(国)、中3(国・英) 標準学力検査(応用力)における正答率が目標値と同等以上の児童生徒の割合が、60%を超えた教科【20教科/28教科】⇒小3(国・算)、小4(国・社・算・理)、小5(国・社・算)、小6(国・社・理)、中1(国・数・理)、中2(国・数・英)、中3(国・理) 「仙台市確かな学力研修委員会」において標準学力検査の結果分析を行い、目標値を下回っている内容を中心に授業改善のための提案授業の公開や指導事例の提案を実施 	△

②いじめ防止対策推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・全市立学校において、学校・保護者・地域のいじめ防止に関する意見交換を実施 ・全市立学校の児童生徒・保護者に対して、体罰等に関するアンケート調査を実施 ・すべての児童生徒との個別面談を実施 ・すべての教職員からいじめ防止・自死予防対策に係る課題や改善策等に関する意見・提案を聴取 ・校内いじめ事案について教育委員会への定期報告(年4回)を開始 ・全市立中学校、仙台青陵中等教育学校及び鶴谷特別支援学校への「いじめ対策専任教諭」の各校1名配置を継続 ・市立小学校への「児童支援教諭」の配置を拡充(24校増) ・市立中学校・中等教育学校の代表生徒によるいじめ防止のDVDを作成、全市立小中学校への配布 ・いじめ対策ハンドブックの作成 	—
③学校教育施設整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・錦ヶ丘中学校※₁建築工事 ※₁(仮称)広瀬第二中学校 ・荒井小学校※₂実施設計 ※₂(仮称)七郷第二小学校 	○
④仙台自分づくり教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全校の中学生を対象に職場体験活動を実施 ・「仙台自分づくり教育フォーラム」を開催 ・「たくましく生きる力」育成プログラムの研修会を実施 ・仙台子ども体験プラザにおける「スチューデントシティ」全小学校実施(参加児童7,991人) ・仙台子ども体験プラザにおける「ファイナンスパーク」全中学校実施(参加生徒7,648人) ・「自分づくり夢教室」を小学校と特別支援学校で実施(91校) 	○
⑤放課後子ども総合プラン推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども総合プラン運営委員会を4回開催し、「放課後児童クラブと放課後子ども教室の連携の在り方」について検討 ・放課後児童クラブサテライト室の拡充(17小学校区に18カ所新設) 	○
⑥放課後子ども教室推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室参加児童数(11,625人増) 	◎
⑦学校支援地域本部事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部組織の拡充(支部22校増、連携校33校増) ・ブックレット「仙台市の学校支援地域本部」作成 ・スーパーバイザーのスキルアップを目指した研修会を実施(全体で3回、各行政区1回実施) 	○
<p>※「②いじめ防止対策推進事業」については、平成29年度において上記のような様々な対策を講じたところであるが、現在、いじめ問題等対策調査特別委員会や仙台市いじめ対策等検証専門家会議による施策の検証及び効果的ないじめ防止対策の在り方の検討が行われていることを勘案し、進捗状況の表記は「—」としている。</p>		
<p>主な課題及び今後の対応</p>	<p>【確かな学力育成事業】 小学校算数の基礎的知識の向上が課題である。引き続き、大学と連携して結果分析等を進めるとともに、改善授業や指導事例の提案を行い、教職員等への周知を図るために報告書の活用を促す。</p> <p>【いじめ防止対策推進事業】 引き続き、市立中学校生徒の自死事案の詳細な調査・検証を進めるとともに、今後は第三者委員会からの答申を踏まえ、関係機関と円滑に連携しながらより効果的ないじめ防止対策に速やかに取り組む。</p> <p>【仙台自分づくり教育推進事業】 児童生徒の自己肯定感を高めるため各事業を推進・検証するとともに、さらに効果を高めるために各事業を系統的に繋げる方策を検討する。</p> <p>【放課後子ども総合プラン推進事業】 引き続き本市の実情に応じた効果的な放課後児童クラブの実施等について検討を行うとともに、小学校の余裕教室や民間物件の賃借等、多様な手法を組み合わせながら放課後児童クラブサテライト室の整備を進める。</p> <p>【放課後子ども教室推進事業】 放課後児童クラブ等、他の事業との連携を推進し、支援者確保や実施環境の整備、関係者とのネットワークづくり等、継続して取り組む。</p> <p>【学校支援地域本部事業】 支部や連携校の設置を進めるとともに、学校支援の内容の質の向上、スーパーバイザーの育成、中学校区内での学校と地域の連携強化を図る。</p>	

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

2. 地域で支え合う心豊かな社会づくり

(1) 共生・健康社会づくり

目標	孤立化を防ぐ地域のつながり、障害に対する理解、男女共同参画などの推進を図りながら、互いに尊重し合い、共に生きる地域社会づくりを進めるとともに、生涯を通じた健康づくりなど、誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けることができる仕組みづくりを進めます。					
総括	一部で遅れが生じている事業があるが、目標の達成に向けて概ね着実に進捗している。					
個別事業名	①鶴ヶ谷第一市営住宅団地再整備事業 ②男女共同参画の視点によるまちづくり推進事業 ③市民健康づくり推進事業 ④総合的な介護予防推進事業 ⑤介護サービス基盤整備促進事業 ⑥地域支え合い推進事業 ⑦障害者差別解消 ⑧障害者グループホーム整備促進事業 ⑨障害者福祉センター整備事業 ⑩障害福祉サービス事業所整備促進事業					
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績		
				H28年度	H29年度	H30年度
	本市の審議会等における女性委員の割合	平成32年度末で40%以上へ向上	平成26年度末実績36.9%	37.9%	37.5%	
	定期的に健康診断を受けている人の割合	平成31年度で93.6%へ向上	平成21年度89.1%	79.5%	-	
	定期的ながん検診を受けている人の割合	平成31年度で下記の数値へ向上 【40歳以上】 胃がん63.8% 肺がん45.9% 大腸がん45.8% 乳がん64.5% 【20歳以上】 子宮頸がん67.0%	平成21年度 【40歳以上】 胃がん42.9% 肺がん32.0% 大腸がん31.9% 乳がん46.1% 【20歳以上】 子宮頸がん40.1%	【40歳以上】 胃がん41.0% 肺がん30.0% 大腸がん35.0% 乳がん53.7% 【20歳以上】 子宮頸がん47.0%	-	
	自身が「健康である」と感じている高齢者の割合	平成31年度で80%以上に向上	平成25年度 男性75.5% 女性74.5%	76.4%	-	
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)の定員数	平成29年度で4,470人に増加	平成26年度末3,770人	4,508人	4,542人	
	社会参加活動(町内会やボランティア活動等)をしている高齢者の割合	平成31年度で55%以上へ向上	平成25年調査時50.0%	49.6%	-	
	障害者グループホームの定員数	平成30年度で1,290人に増加	平成27年度990人	1,073人	1,228人	
生活介護事業所総定員数	平成30年度で1,065人に増加	平成27年度1,015人	1,062人	1,107人		

①鶴ヶ谷第一市営住宅団地再整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
第四工区（その1）整備		
	第四工区（その2）整備	
中央広場整備		
民間活用用地第二期整備		

②男女共同参画の視点によるまちづくり推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
	男女共同参画せんだいプランに基づく事業の実施	
	プランの実施状況のフォローアップ・公表	

③市民健康づくり推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
	市民健康診査実施	
	重症化予防の取り組み等	
第2期いきいき市民健康 プラン前期評価に向けた 調査・検討	プランの中間評価 後期計画策定	プランの後期計画～

④総合的な介護予防推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
	相談・支援事業	
	介護予防に関する普及啓発	
二次予防対策者把握事業	介護予防把握事業	
元気高齢者・生活機能低下高齢者向け事業	「新しい総合事業」における介護予防事業	
モデル事業		

⑤介護サービス基盤整備促進事業

H28年度	H29年度	H30年度
第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づく 介護サービス基盤の整備		第7期高齢者保健福祉計画・ 介護保険事業計画に基づく 介護サービス基盤の整備

⑥地域支え合い推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
「新しい総合事業」検討	「新しい総合事業」実施	
モデル事業		
地域包括支援センター機能強化（専任職員配置（50センター））		

⑦障害者差別解消

H28年度	H29年度	H30年度
	独自条例施行	
集中的な周知・啓発		
普及啓発・交流のための事業の実施		
相談体制の整備・紛争解決のための調整機関の設置		
意思疎通支援の拡充		

⑧障害者グループホーム整備促進事業

H28年度	H29年度	H30年度
補助金交付による新規開設の促進		
新規開設のノウハウ普及を目的とした研修会		
保護者会等を対象とした研修会		
整備促進を目的としたネットワーク会議		
医療的ケア対応グループホーム等の運営費に対する補助		

⑨障害者福祉センター整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
(仮称)青葉障害者福祉センター整備に向けた調査・検討	基本設計・実施設計	

⑩障害福祉サービス事業所整備促進事業

H28年度	H29年度	H30年度
新事業所整備工事	新事業所選定	補助協議
既存事業所改修設計	改修工事	新事業所整備工事

個別事業名	H29年度の主な実績	進捗状況
①鶴ヶ谷第一市営住宅団地再整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・第四工区建設工事その2 完了(H30.3) ・民間活用用地第二期 事業者提案施設 一部完成(H30.3) 	○
②男女共同参画の視点によるまちづくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市男女共同参画推進センターにおける学習・研修事業、市民活動団体の協働事業、活動スペースの提供、情報提供等を実施 ・仙台市配偶者暴力相談支援センター事業を実施(電話・面接計2,679件、市民向け講座4回参加者数計196人) ・防災・復興まちづくりへの女性参画促進に向けた人材育成プログラム「決める・動く2017」を実施(参加者数19人) ・「世界防災フォーラム/防災ダボス会議@仙台2017」で女性のリーダーシップの重要性をテーマに一般公開セッションを実施(参加者数143人) ・男性対象電話相談事業を試行実施(3日間限定) 	○
③市民健康づくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎健診受診者数(35-39歳、75歳以上等):38,846人 ・20歳のデンタルケア受診者数:780人 ・歯周病検診受診者数(30、40、50、60、70歳):7,343人 ・食で健康サポート店登録店舗:58件 ・受動喫煙防止宣言施設:543施設 	△
④総合的な介護予防推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・11月の介護予防月間において普及啓発イベントを開催(参加者数延べ7,199人) ・介護予防が必要な方を把握するため、70歳、75歳、80歳の方へ郵送で調査を実施(6,335人を把握) ・元気応援教室開催(参加者延べ324人) ・地域包括支援センターでの介護予防教室(参加者数延べ16,867人) ・自主的に介護予防に取り組むグループの育成(新規団体24グループ)、担い手育成を図る研修開催(5カ所)、担い手の技術向上を図る研修開催(7カ所) ・シニア世代向け健康づくり講座事業を実施(7カ所、活動継続6団体) ・地域リハビリテーション活動支援事業として、リハビリテーション専門職を派遣(68団体) 	○
⑤介護サービス基盤整備促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度選定済み施設(< >内は第6期(H27-29)整備計画数) 特別養護老人ホーム 34床(ショートステイからの転換のみ)(計10施設772床 < 700床 >) ・小規模多機能型居宅介護 2事業所(計8事業所) < 12事業所 > ・緊急用ショートステイベッドとして、市内2施設に計2床の専用ベッドを確保(利用日数267日、稼働率36.58%) 	○
⑥地域支え合い推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体による訪問・通所型生活支援モデル事業実施団体への補助(23団体) ・ひとり暮らし高齢者緊急通報システムの設置(設置台数3,791台/うち新規642台) ・民間企業等との高齢者の見守り協定締結(締結先5件/うち新規1件) ・地域ケア会議開催(区主催35回、地域包括支援センター主催283回) 	○

個別事業内容

⑦障害者差別解消	<ul style="list-style-type: none"> ・各区障害高齢課の相談員による相談受付(受付件数71件) ・仙台市差別解消・虐待防止連絡協議会を開催し、関係団体(29機関)の連携を促進(計2回) ・障害理解・啓発に係るシンポジウム(参加者数50人)及びワークショップ「ココロン・カフェ」(計6回参加者数延べ126人)を開催 ・市民協働による障害理解促進PR事業(計5回延べ540人) ・手話通訳等のコミュニケーション支援(通訳派遣件数延べ1,331件) 	○
⑧障害者グループホーム整備促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム新規開設事業者に対して、消防設備の設置費用や建築基準法の用途変更に伴う改修費用を助成(助成件数計21件、計16,576千円) ・グループホーム新規開設希望者へのグループホームサポート事業を実施、グループホーム運営法人による自主団体「仙台市グループホーム連絡会」の設立準備(平成30年4月1日設立) ・グループホーム事業者を対象とする研修会を開催(参加者数116人) ・不動産業界に対してグループホーム整備への理解促進をテーマとした説明会を実施(計2回開催、参加者数計98人) ・医療的ケア対応型グループホームの運営費を助成(1件4,534千円) 	○
⑨障害者福祉センター整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)青葉障害者福祉センター整備に向けた調査検討を実施(旭ヶ丘駅前複合施設整備に向けた調査検討として一体的に実施) 	△
⑩障害福祉サービス事業所整備促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・生活介護事業所の総定員数を45人拡充(新規3カ所、拡充1カ所) 	○
<p>主な課題及び今後の対応</p>	<p>【市民健康づくり推進事業】 生活習慣病を予防し、健康寿命を延伸するために、食事・運動・休養といった、市民が健康づくりに取り組みやすい環境を整備していく。また協定企業と連携し、健康づくりや健診受診勧奨を広く啓発する。</p> <p>【総合的な介護予防推進事業】 健康課題を持ちながら相談につながらない潜在化した高齢者へのアプローチや、介護予防自主グループの地域偏在に対応するため、引き続き介護予防の啓発を図り、関係機関と連携しながら地域の多様な通いの場の立ち上げ支援及び担い手の育成を図る。</p> <p>【地域支え合い推進事業】 地域の特性やつながりを生かした支え合いの担い手育成や、住民主体による生活支援活動の充実に向けた支援を行う。また、地域ケア会議や研修の実施等を通じて、医療・介護分野をはじめとする専門職や行政、地域包括支援センター等の関係機関の連携強化を図っていく。</p> <p>【障害者差別解消】 市民への障害理解に関しては、障害理解サポーター事業の本格実施により普及・啓発を図るとともに、ココロン・カフェなどの取り組みを引き続き進めていく。障害者差別に関する個別相談については、関係機関と連携を図りながら、各区等の相談員等による対応を着実に進める。</p> <p>【障害者グループホーム整備促進事業】 グループホーム利用者に必要かつ十分な支援を提供することができる人員体制確保が可能となる報酬単価を設定するよう、引き続き国に要望していく。また、引き続き新規開設時の助成を通じて整備促進を図っていく。仙台市グループホーム連絡会と連携し、研修会の実施等を通じてグループホームの整備促進や支援の質の向上を図っていく。</p> <p>【障害者福祉センター整備事業】 地域との事業用地に関する合意形成を図り、事業用地の選定後には、住民ワークショップ等による施設機能の整理を行ったうえで、基本構想を策定する。</p>	

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

2. 地域で支え合う心豊かな社会づくり

(2) 子育て応援社会づくり

目標	出産・子育ての希望をかなえることができる環境を整えるとともに、子どもたちが遊びや多様な体験を通じてたくましく健やかに成長できる機会をつくるなど、地域社会全体で子育て家庭と子どもたちの成長を支える取り組みを進めます。					
総括	一部で予定を上回る成果を上げた事業があり、目標の達成に向け着実に進捗している。					
個別事業名	①児童館整備事業 ②幼稚園の保育機能拡充支援事業 ③保育基盤整備推進事業 ④多様な保育サービスの充実 ⑤家庭に対する仕事と子育ての両立支援事業 ⑥妊娠・出産包括支援事業 ⑦企業等に対する仕事と家庭の両立支援推進事業 ⑧子育てふれあいプラザ(のびすく)整備事業 ⑨保育サービス相談員の配置による利用者支援事業 ⑩保育所による地域子育て支援事業					
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績		
				H28年度	H29年度	H30年度
	幼稚園預かり保育利用者数(延べ人数)	平成30年度で475,433人へ増加	平成27年度462,995人	496,827人	505,981人	
	保育施設等の利用定員数	平成31年度当初で19,927人へ増加	平成28年度当初18,295人	平成29年度当初19,339人	平成30年度当初19,971人	
	保育所等の延長保育利用者数(延べ人数)	平成30年度で4,655人に増加	平成27年度4,433人	5,623人	5,142人	
	乳幼児健康診査の受診率	平成30年度で平成25年度実績より増加	平成25年度 3～5か月児94.8% 1歳6か月児96.1% 3歳児91.9%	3～5か月児95.9% 1歳6か月児96.9% 3歳児93.9%	3～5か月児95.6% 1歳6か月児98.2% 3歳児93.5%	
	のびすく若林来館者数	平成30年度で27,000人	平成29年度開館	開館に向けて準備	16,978人 (10月開館)	
保育所における子育て支援事業利用者数	平成30年度で平成27年度水準を維持	平成27年度125,545人	137,144人	141,852人		

実施計画
における
年次計画

①児童館整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
(仮称) 東宮城野マイスクール 児童館整備工事		
若林区中央児童館改築工事	西多賀児童館改築工事	
落合児童館改築工事		
(仮称) 七郷第二児童館 基本設計	実施設計	建設工事

②幼稚園の保育機能拡充支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
認定こども園運営及び幼稚園預かり保育事業への助成		

③保育基盤整備推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
保育施設等整備		

④多様な保育サービスの充実

H28年度	H29年度	H30年度
延長保育、一時預かり、休日保育の実施		

⑤家庭に対する仕事と子育ての両立支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
若林区保育所併設型病後児保育施設開所・事業開始 ※平成28年度～29年度に病児保育事業開始		
すくすくサポート事業		

⑥妊娠・出産包括支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
母子保健総合相談体制の強化		
母子保健に係る他機関との連携強化		

⑦企業等に対する仕事と家庭の両立支援推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
啓発セミナー開催・リーフレット配布等		

⑧子育てふれあいプラザ(のびすく)整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
(仮称) のびすく若林整備		開館・事業開始
子育て支援団体相互交流会開催・子育て支援者向け情報提供		

⑨保育サービス相談員の配置による利用者支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
保育サービス相談員による情報提供・相談支援及び効果検証		

⑩保育所による地域子育て支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
各保育所における相談指導・講座の実施		

個別事業名	H29年度の主な実績	進捗状況
①児童館整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・東宮城野マイスクール児童館開館(平成29年4月) ・若林区中央児童館改築工事を実施(南小泉児童館と名称変更しH29年9月開館) ・西多賀児童館改築工事を実施 ・(仮称)七郷第二児童館実施設計を実施 ・(仮称)東二番丁マイスクール児童館実施設計を実施 	○
②幼稚園の保育機能拡充支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園から幼稚園型認定こども園への移行(1園) ・全ての私立幼稚園(81園)で預かり保育を実施 ・保育所と同等の11時間以上の預かり保育を実施する私立幼稚園数(16園増) 	◎
③保育基盤整備推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・認可保育所の整備(施設数20カ所増、定員1,300人増) ・小規模保育事業(A型・B型・C型)の推進(事業数18カ所増、定員267人増) ・家庭的保育事業の推進(事業数1カ所増、定員9人増) 	○
④多様な保育サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育(2時間以上)を実施する保育所数(6カ所増) ・一時預かり実施保育所数(6カ所増) 	○
⑤家庭に対する仕事と子育ての両立支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地(青葉区五橋)に、病児・病後児保育事業実施施設を新設 ・すくすくサポート事業を実施(利用会員数3,056人、協力会員数485人、両方会員数129人、活動回数7,571回) 	○
⑥妊娠・出産包括支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談の専任職員(母子保健コーディネーター)を引き続き各区及び総合支所に1人ずつ配置 ・低出生体重児の発達や生育に関する専門的な相談を受ける職員の研修や保護者向けの育児相談会を開催(研修2回、育児相談会4回) ・「せんだい妊娠ほっとライン」の開設(相談件数192件) 	○
⑦企業等に対する仕事と家庭の両立支援推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク・ライフ・バランスセミナーを開催(115人) ・産休・育休等の両立支援制度や企業が活用できる補助金等の情報をまとめたリーフレットを引き続き作成し、母子健康手帳交付時に配布 	○
⑧子育てふれあいプラザ(のびすく)整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・のびすく若林開館(平成29年10月1日開館/16,978人利用) ・「せんだい子育て支援者ネットワーク交流会2017」を開催 	○
⑨保育サービス相談員の配置による利用者支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口・電話での相談(窓口5,678件、電話1,834件) ・子育て支援拠点等での出張相談会の開催(開催件数207件/個別相談者数1,131件) 	○
⑩保育所による地域子育て支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における子育て家庭との交流(親子の集い、自由来所、行事の開放、体験保育等への参加者106,973人) ・子育て等に関する相談、援助(相談件数22,773件) ・区役所、市民センター、近隣の保育所、児童館等へ、子育て支援センターに関する情報や地域の保育資源の情報などを提供 ・子育て及び子育て支援に関する講習等の実施(8,580人参加) ・訪問型子育て支援事業を実施(6カ所/相談件数3,526件) 	○
主な課題及び今後の対応	<p>【幼稚園の保育機能拡充支援事業】 預かり保育に対する助成制度(連携施設設定加算)の活用を促し、保育所と同等の11時間以上の預かり保育を行う私立幼稚園を増加させるとともに、小規模保育事業等との連携(小規模保育事業等卒園後の受け皿)を促進する。</p> <p>【保育基盤整備推進事業】 今後の整備においては、保育士の不足等の影響を受けることが想定されるが、待機児童解消を目指し、保育需要の多い地域を中心に保育基盤の整備を進める。また、3歳未満児を対象としている小規模保育事業、家庭的保育事業等については、卒園後の受け皿となる幼稚園・認定こども園・認可保育所等とのマッチングなど支援を行い、利用者の増加を図る。</p> <p>【多様な保育サービスの充実】 保護者の就労形態の多様化等に対応した保育サービスを提供するため、延長保育、一時預かり、休日保育の充実を図る。</p> <p>【妊娠・出産包括支援事業】 産後に育児の不安を抱える方や育児のサポートが得られない方に対し、不安や困りごとを軽減するための支援を引き続き実施する。</p> <p>【保育サービス相談員の配置による利用者支援事業】 利用待機となっている保護者に対し、よりきめ細やかな情報提供や相談支援が実施できるよう、子育て支援拠点等での出張相談会の拡充を目指す。</p>	

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

2. 地域で支え合う心豊かな社会づくり

(3) 安全で安心な市民の暮らしを支える取り組み

目標	震災の教訓を踏まえた災害に強い都市づくりや、危機管理体制の充実を図るとともに、犯罪や交通事故などの地域課題に対応し、安全で安心な市民生活を守るための対策を推進します。					
総括	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。					
個別事業名	①水道施設災害対策事業 ②下水道地震対策事業 ③都市ガス防災対策強化事業 ④下水道総合浸水対策事業 ⑤災害対策本部等情報連絡体制等強化事業 ⑥消防団強化緊急事業 ⑦防災意識の普及啓発強化事業 ⑧地域防災リーダー養成・支援事業 ⑨仙台版防災教育推進事業 ⑩地域安全対策事業 ⑪児童生徒の安全確保事業					
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績		
				H28年度	H29年度	H30年度
	水道管の耐震化率 <small>水道管の耐震化率＝耐震性を有する水道管路(※1)の延長/水道管路の総延長×100 ※1:材質や継手の強度等により、一定の耐震性を有すると評価できる水道管路</small>	平成30年度末で 87.9%以上へ向上	平成26年度末 86.5%	86.8%	87.2%	
	下水道管の耐震化率 <small>下水道管の耐震化率＝耐震性を有する下水道管きよの延長/特に優先的に耐震化を必要とする下水道管きよの延長×100</small>	平成30年度末で 37.7%以上へ向上	平成26年度末 33.8%	36.6%	38.1%	
	ガス導管の耐震化率 <small>ガス導管の耐震化率＝耐震性を有するガス導管の延長/ガス導管の総延長×100</small>	平成32年度末で 87.7%以上へ向上	平成26年度末 84.6%	85.5%	85.8%	
	10年確率降雨対応整備面積普及率	平成30年度末で 35.7%以上へ向上	平成26年度末 33.5%	34.3%	34.7%	
	仙台市地域防災リーダー人数	平成30年度で 600人を維持	平成27年度 584人	594人	599人	
	特殊詐欺の発生件数	平成32年中で 160件以下に減少	平成27年 219件	159件	212件	
子どもを対象とした声かけ事案等の発生件数	平成32年中で 190件以下に減少	平成27年 251件	287件	341件		
学校ボランティア防犯巡視員登録者数(延べ人数)	平成30年度で 6,150人以上を確保	平成27年度末 6,049人	6,140人	5,695人		

①水道施設災害対策事業

H28年度	H29年度	H30年度
浄水場・配水池等の基幹施設の耐震化		
老朽化した送配水管路の更新・配水幹線等の整備		
広域水道の単独配水区域への送水施設整備		
災害時給水施設の設置		

②下水道地震対策事業

H28年度	H29年度	H30年度
管きよの耐震化（設計・工事）		
浄化センター・ポンプ場の耐震化（設計・工事）		

③都市ガス防災対策強化事業

H28年度	H29年度	H30年度
経年管入替工事		

④下水道総合浸水対策事業

H28年度	H29年度	H30年度
雨水施設の整備（設計・工事）		
土のう配布、止水板設置費補助		
		浸水想定区域図改訂

⑤災害対策本部等情報連絡体制等強化事業

H28年度	H29年度	H30年度
災害時情報発信システム整備	運用	
研修・訓練プログラム作成	プログラムによる研修・訓練の実施	
災害情報センター運用		
防災行政用無線整備		

⑥消防団強化緊急事業

H28年度	H29年度	H30年度
無線通信機器の配備	職務報酬・運営補助金見直し	
安全装備等（活動服・救命胴衣・防火衣）の充実強化		
教育訓練の充実強化		

⑦防災意識の普及啓発強化事業

H28年度	H29年度	H30年度
水害・土砂災害ハザードマップの見直し		
土砂災害警戒区域の指定地域に対する説明会開催		
浸水想定区域に対する説明会開催		

⑧地域防災リーダー養成・支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
SBL新規養成		
SBLの活動支援（バックアップ講習会の実施等）		

⑨仙台版防災教育推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
研究推進取組発表校の事例実践		
研究開発学校における実践		
防災教育副読本の改訂・活用		

⑩地域安全対策事業

H28年度	H29年度	H30年度
安全安心街づくり基本計画に基づく施策の実施		

⑪児童生徒の安全確保事業

H28年度	H29年度	H30年度
学校防犯巡視員による巡視		
学校ボランティア防犯巡視員による巡視		
インターネット巡視員によるインターネット巡視		

個別事業内容	個別事業名	H29年度の主な実績	進捗状況
	①水道施設災害対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・水道管路の耐震化を実施(配水支管更新24.4km) ・配水経路の多系統化や水道水の相互融通機能の充実を図るため、主要な配水経路同士をつなぐ配水幹線整備を実施 ・坪沼配水所系へ中原浄水場からの送水を可能とする送水管(全6.7km)を整備(平成29年度は1.2km整備) ・指定避難所である市立学校に災害時給水栓を設置(総設置数103校(平成29年度は富沢小学校ほか25校に設置)) 	○
	②下水道地震対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・管路施設の耐震化を実施(4地区) ・浄化センター・ポンプ場の耐震化を実施(4施設) 	○
	③都市ガス防災対策強化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震性に優れたポリエチレン管等への入れ替え工事を実施(入替発注延長数13.6km) ・防災ブロックが確実に機能するよう、供給設備の定期点検に加え自主点検を実施(バルブ点検数2,722基) 	○
	④下水道総合浸水対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水対策施設の整備(平成29年度完成:榴岡第2雨水調整池) ・復興交付金事業を活用した浸水対策施設の整備(H29年度完成:第2霞目雨水幹線) ・土のうステーション設置個所の拡充 	○
	⑤災害対策本部等情報連絡体制等強化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市災害情報発信システムを改修 ・各局区における研修・訓練実施計画を作成し、職員向けeラーニングを実施 ・福祉避難所等に防災行政用無線を整備(5基) 	○
	⑥消防団強化緊急事業	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団の職務報酬および運営補助金基準額を増額 ・救命胴衣の配備(301着)、防火衣の更新(79着) ・消防学校への入校(基礎教育:87名、幹部教育19名、特別教育7名入校) 	○
	⑦防災意識の普及啓発強化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・NTTタウンページ株式会社との協定に基づき「仙台防災タウンページ」を新たに作成し、平成29年9月に市内全戸、全事業所へ配布。 ・ハザードマップについて、想定最大規模降雨の浸水想定区域の公表に伴い「家屋倒壊等氾濫想定区域」も反映し、対象となる地域への説明会を実施。 ・想定最大規模降雨の浸水想定区域の公表に伴い、洪水浸水想定区域内の指定避難所運営委員会へ大雨時の対応について説明会を行い、地域版避難所運営マニュアル(大雨時避難・開設編)の策定を促し、必要に応じ支援を行った。 ・上記のほか、地域からの要望等により災害対応に関する説明会や防災講話等を行うなど、地域に密着した防災意識の普及啓発を行った。 	○
	⑧地域防災リーダー養成・支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市地域防災リーダー(SBL)の新規養成(52人) ・SBLを対象としたバックアップ講習会を実施(320人) ・町内会等とSBLの連携強化を目的とした各区のバックアップ講習会を実施(320人) 	○

⑨仙台版防災教育推進事業	・仙台版防災教育研究推進取組発表校を29校指定し、研究推進取組発表校発表会を1月に開催	○
⑩地域安全対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防犯活動団体への助成件数(11件) ・歩くボランティア新規登録者数(55人) ・防犯出前講座(84回延べ2,882人参加) ・防犯カメラ設置助成(設置台数21台、補助額598万円) ・空き家の所有者等への助言・指導(382件) ・歩行喫煙等防止の街頭啓発キャンペーン(16回) 	○
⑪児童生徒の安全確保事業	<ul style="list-style-type: none"> ・警察官OB27名を学校防犯巡視員「仙台・まもらいだー」として委嘱し、校地内外の巡視活動を実施(1人あたり6～8校の学校を担当し、1日5時間、週3日程度の活動) ・仙台市立小中学校のPTA、地域住民、防犯協会及び町内会等に呼びかけを行い、学校ボランティア防犯巡視員として5,695人を登録し、登下校時間帯を中心とした巡視活動を実施 	○
<p style="text-align: center;">主な課題及び 今後の対応</p>	<p>【水道施設災害対策事業】 更新需要の増大に伴い、受注業者のマンパワー不足が課題となっているほか、工事単価の上昇が計画的な管路の更新に影響を与えている。より安価な材料や新しい工法を積極的に採用し、経費削減と工事の効率化を図りながら、引き続き耐震性を有する水道管への更新工事を推進する。</p> <p>【下水道地震対策事業】 ポンプ場の耐震化工事は入札不調が続いたことから進捗が遅れた。小規模のため入札不調が続いたと考えられることから、複数施設を併せ規模を拡大して発注し、入札不調の対応を図る。</p> <p>【地域防災リーダー養成・支援事業】 活動を辞退したSBLの補充を目的とした新規養成を今後も行う(平成30年度は100名養成予定)。また、現在活動中のSBLの活動支援事業も併せて行う。女性の防災リーダーや若い世代の防災リーダーの確保が課題であり、女性・若い世代が養成講習を受講しやすい環境づくりに努める。</p> <p>【地域安全対策事業】 手口が多様化する特殊詐欺への対策や子どもが被害者となる犯罪の抑制に向けて、引き続き関係団体と連携した施策を着実に推進する。</p> <p>【児童生徒の安全確保事業】 目標人数達成に向けて協力を得られるよう、呼びかけの強化を検討する。</p>	

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

3. 自然と調和した持続可能な都市づくり

(1) 低炭素・資源循環都市づくり

目標	都市基盤・都市構造や市民生活・経済活動の中に低炭素化や資源循環、災害時におけるエネルギー確保の仕組みが備わった都市づくりと、これを支える人づくりを進めます。					
総括	個別の事業において進捗状況は異なるが、目標の達成に向け概ね着実に進捗している。					
個別事業名	①低炭素都市づくり推進事業 ②エネルギー自律型システム推進事業 ③コミュニティサイクル事業 ④ごみ減量・リサイクル推進事業 ⑤せんだいE-Action推進事業					
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績		
				H28年度	H29年度	H30年度
	温室効果ガス排出量	平成32年度に平成22年度比で0.8%以上削減(7,640千t-CO ₂ /年以下)	平成22年度 7,705千t-CO ₂ /年	平成27年度確定値 8,231千t-CO ₂ /年 <small>※平成28年度の確定値は平成31年度に集計が完了するため、平成27年度の値で評価する</small>	平成28年度速報値 8,532千t-CO ₂ /年 <small>※平成29年度の確定値は平成32年度に集計が完了するため、平成28年度の値で評価する</small>	
	民間防災拠点への再生可能エネルギー設備導入件数	平成28～30年度で合計3件以上	平成27年度実績1件	4件	1件	
	創エネルギー導入促進助成制度による指定件数	平成28～30年度で合計3件以上	平成27年11月制度創設	1件	0件	
	家庭用エネファーム・エコウィルの設置台数	平成28～30年度で合計1,000台以上	平成27年度 174台	174台	175台	
	業務用GHP・ガス吸収式冷温水発生機・コージェネレーションシステムの導入実績(設備能力)	平成28～30年度で合計36,800kW以上(GHP・ガス吸収式冷温水発生機36,000kW、コージェネレーションシステム800kW)	平成27年度 13,802kW	13,538kW	8,317kW	
	コミュニティサイクル1日あたり平均回転数	平成30年度で現状以上を維持	平成26年度実績1.33	1.94	1.61	
	ごみ総量	平成32年度で360,000t/年以下に減少	平成26年度 385,863t/年	376,033t/年	377,595t/年	
	燃やすごみの量	平成32年度で305,000t/年以下に減少	平成26年度実績 333,424t/年	325,903t/年	328,502t/年	
	リサイクル率	平成32年度で35%以上に増加	平成26年度実績29.9%	29.3%	28.9%	
	1人1日あたりの家庭ごみの量	平成32年度で450g以下に減少	平成26年度実績489g	467g	469g	
「せんだいE-Action」啓発イベント及び3E推進企画毎年度参加者数	平成30年度で3,000人以上に増加	平成27年度 1,827人	1,650人	5,454人		

実施計画
における
年次計画

①低炭素都市づくり推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
自然環境保全、都市機能集約・最適化、分散型エネルギー利活用等		
環境負荷の小さい交通手段の利用促進		
熱エネルギー有効活用補助金等による省エネ・創エネ・蓄エネの普及拡大		
気候変動影響リスクの低減に向けた情報収集・共有・提供・熱環境改善等		
環境負荷低減の「見える化」、キャンペーン、教育等		
仙台市役所の省エネ・創エネ・蓄エネ化推進		

②エネルギー自律型システム推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
民間事業者と連携したエネルギーマネジメントの取り組み推進		
事業者等への助成による分散型エネルギーの創出、研究開発・実証実験施設の立地促進		
田子西・荒井東のエコモデルタウン事業運用状況の検証・横展開モデルの検討		
防災拠点への再生可能エネルギー設備等導入促進		
次世代エネルギー市民向けイベントの開催		
家庭用のエネファーム・エコウィルの普及促進		
業務用GHPやガス吸収式冷温水発生機、コージェネレーションシステムの普及促進		
市有建築物への都市ガス普及施策の実施		

③コミュニティサイクル事業

H28年度	H29年度	H30年度
コミュニティサイクルの運営		

④ごみ減量・リサイクル推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
市民・事業者に対するごみ減量・リサイクルの広報啓発		
ごみ減量・リサイクル施策の推進・拡充		

⑤せんだいE-Action推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
3E推進地区の拡大		
イベント開催		

個別事業名	H29年度の主な実績	進捗状況
①低炭素都市づくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 市役所への次世代自動車EV・PHV1台導入(0.87(t-CO₂/年)削減) 熱エネルギー有効活用導入補助(366件、229.7(t-CO₂/年)削減) 低炭素ボイラーへの転換補助(ボイラー11基、139.3(t-CO₂/年)削減) 温室効果ガス削減計画書制度モデル事業(参画事業所 10事業所) せんだい環境学習館たまきさんサロンにおける環境学習の支援等(利用者数5,936人、環境学習プログラム受講者数133件) 	△
②エネルギー自律型システム推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 民間防災拠点への再生可能エネルギー設備の導入(イオンリテール) 2017防災産業展in仙台における次世代エネルギー等普及啓発に向けた事業紹介 エコモデルタウン事業運用状況の実績評価及び事業者への提言を実施 	○
③コミュニティサイクル事業	<ul style="list-style-type: none"> 自転車ポート数(12カ所増、計54カ所) 自転車数(120台増、計315台) 会員登録数(7,480人増、計30,812人) 年間利用回数(47,637回増、計185,615回) 	○

④ごみ減量・リサイクル推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ集積所調査啓発キャラバン(クリーン仙台推進員と市職員による家庭ごみ排出実態調査)の実施(511カ所) ・大学周辺におけるキャンパス調査啓発キャラバンを実施(新規) ・不動産管理業者、町内会と連携した集合住宅調査啓発キャラバンを実施(新規) ・大規模多量排出事業者への立入調査を実施(95社増、計282社) ・清掃工場における搬入物(事業ごみ)検査及び適正排出指導(随時) ・事業系生ごみ処理機補助(新規4件) 	○
⑤せんだいE-Action推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・緑のカーテンの普及や打ち水イベント等の開催、大規模イベントへのブース出展による啓発(イベント参加者数5,208人) ・伊達な節電所キャンペーンを実施(参加者数246人、総節電量569,626kWh) ・環境ウェブサイト「たまきさん」の運営(アクセス数153,468件) 	◎
<p>主な課題及び今後の対応</p>	<p>【低炭素都市づくり推進事業】 市民・事業者・行政の協働による取り組みを推進するとともに、これまで実施してきたモデル事業を踏まえ、事業者からの温室効果ガス排出量削減を目指す「(仮称)温室効果ガス削減アクションプログラム」の導入に向けた検討を進める。</p> <p>【エネルギー自律型システム推進事業】 民間防災拠点への再生可能エネルギー設備導入に向けて、さらに積極的に周知を進めるとともに、導入済みの施設においては地域防災拠点として地域住民への浸透を図る。また、創エネルギー導入促進助成制度については、事業者ヒアリングを実施し制度活用に向けた掘り起こしを行う。エネファームやエコウィルといった家庭用ガスコージェネレーションシステムについては、設置台数の拡大を図るためハウスメーカー等への働きかけをより推進し、業務用GHP等についてはメリットを訴求した提案営業を行うとともに設置施設へのアフターフォローにも注力する。</p> <p>【コミュニティサイクル事業】 新規ポート拡大のため、引き続き民間企業や店舗(コンビニ)等に対してポート設置の協力を求めるとともに、自転車利用者へのルール・マナー周知にも努める。</p> <p>【ごみ減量・リサイクル推進事業】 引き続き「WAKE UP(ワケアップ)!!仙台」キャンペーンを展開し、市民・事業者に対して啓発するほか、平成30年9月から、これまで焼却処理していた家庭からの「剪定枝」及び「コーティング加工された紙製容器包装」を資源化するモデル事業を行う。事業ごみについては、平成29年度に清掃工場に導入した検査装置を用いた適正排出指導や事業系生ごみ処理機の購入補助等の事業を引き続き推進する。</p>	

重点事業 自己評価シート

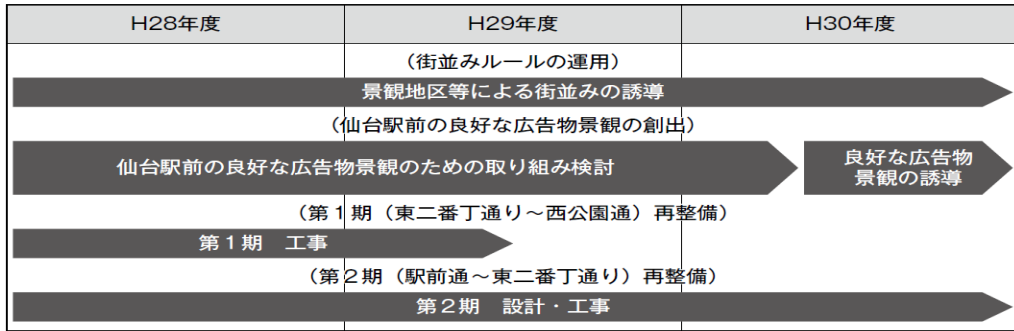
I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

3. 自然と調和した持続可能な都市づくり

(2) 自然と調和した杜の都の都市個性を高める土地利用の推進

目標	杜の都にふさわしい都市景観の整備や公共施設をはじめとする身近な空間の緑を育み、自然環境と都市機能が調和した土地利用の推進を図ります。					
総括	一部で遅れが生じている事業があるが、目標の達成に向けて概ね着実に進捗している。					
個別事業名	①市民連携農業推進事業 ②都市緑化推進事業 ③市街地みどりの回廊づくり事業 ④青葉通再整備事業					
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績		
				H28年度	H29年度	H30年度
	レクリエーション農園設置数	平成30年度末で45農園以上に増加	平成27年度39農園	38農園	39農園	
	学童農園開設数	平成30年度末で82農園以上に増加	平成27年度79農園	80農園	76農園	
	みどりの総量(緑被率)	平成31年度で平成26年度比維持・向上	平成26年度79.3%	-	-	
実施計画における年次計画	①市民連携農業推進事業					
	H28年度	H29年度	H30年度			
	レクリエーション農園新設時補助（既設修繕補助併用）、利用促進広報					
	学童農園設置者に対する助成、学校等への活用促進					
	収穫まつり開催					
	農あるふるさとづくり支援					
	②都市緑化推進事業					
	H28年度	H29年度	H30年度			
	街路緑化の実施					
	泉中央駅前花壇等における花の修景					
	民有地緑化助成（生垣・緑化木・花壇・花いっぱい・記念樹）					
	③市街地みどりの回廊づくり事業					
H28年度	H29年度	H30年度				
青葉通等における街路樹の補植・改植						
仙台駅前ペDESTリアンデッキ・定禅寺通緑地における花の修景						
民有地緑化助成（建築物緑化・街かど緑化）						
西公園再整備						

④青葉通再整備事業



個別事業名	H29年度の主な実績	進捗状況	
個別事業内容	①市民連携農業推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 学童農園事業について事業協力農園への入園料補助の実施(76農園、小・中学校、幼稚園、保育園65校で実施) 農業園芸センターみどりの杜収穫まつりの開催(来場者数11,636人) 農あるふるさとづくり支援事業の実施(補助事業採択件数3件) 	△
	②都市緑化推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 生垣づくり助成の実施(129件、1,713m、13m/件) 緑化木植栽助成の実施(3件) 花壇づくり助成の実施(284件、18,995㎡、67㎡/件) 花いっぱいまちづくり助成の実施(7件、834㎡、119㎡/件) 記念樹交付の実施(2,964件) 	○
	③市街地みどりの回廊づくり事業	<ul style="list-style-type: none"> 街路樹植栽工事の実施(仙台駅前ペDESTリアンデッキ下部) 花の修景の実施(仙台駅前ペDESTリアンデッキ・定禅寺通緑地) 西公園再整備工事の実施 	○
	④青葉通再整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 第1期再整備(東二番丁通～西公園通:延長約1.0km)については工事が完了(一番町工区の約70m、ケヤキの植栽13本) 青葉通まちづくり協議会において、オープンカフェ、まち歩きイベントを実施 街並み形成ガイドラインにもとづく良好な景観の誘導(景観認定申請は1件) 	○
主な課題及び今後の対応	<p>【市民連携農業推進事業】 新たなレクリエーション農園や学童農園の設置に向け、農業者や各学校等へ事業周知を行うほか、様々な地産地消・食育の事業実施を通じて、農との触れ合い等に関する市民や事業者等の理解増進に努める。</p> <p>【都市緑化推進事業】 街路緑化や花による緑化事業を継続的に実施するとともに、緑化助成制度の周知・啓発を強化し、民有地緑化を促進する。</p> <p>【市街地みどりの回廊づくり事業】 都心部における街路空間の緑の質と量の向上に向け、街路緑化や緑化助成制度による民有地緑化を促進するとともに、西公園についても再整備工事を進める。</p> <p>【青葉通再整備事業】 第2期再整備(駅前通～東二番丁通:延長約0.5km)については、民間再開発の動向等を踏まえながら整備計画の検討を行う。また、青葉通まちづくり協議会の取り組みについて、引き続き必要な支援を行う。</p>		

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

3. 自然と調和した持続可能な都市づくり

(3) 機能集約と地域再生による持続的な発展を支える都市構造の形成

目標	土地利用と交通政策の一体的推進などにより、機能集約型市街地の形成を図るとともに、地域の特性や課題に応じた生活環境の改善に向けた取り組みを進めます。					
総括	一部で遅れが生じている事業があるが、目標の達成に向けて概ね着実に進捗している。					
個別事業名	①機能集約型まちづくり推進事業 ②道路空間利活用推進事業 ③ストック活用型都市再生推進事業 ④若林区役所と薬師堂駅を基軸とした賑わい創出事業 ⑤郊外居住地域における暮らしの環境形成事業 ⑥まち再生・まち育て活動支援事業					
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績		
				H28年度	H29年度	H30年度
	地下鉄沿線区域の夜間人口	平成32年度で平成27年度比増加	平成27年度 35.2万人	35.5万人	35.7万人	
	リノベーションスクールにおける民間不動産の対象物件数	平成29年度末で5件以上に増加	平成27年度末 0件	5件	1件	
	リノベーションスクールにおける公共空間の対象物件数	平成29年度末で2件以上に増加	平成27年度末 0件	3件	4件	
薬師高砂堀通りの賑わいづくりイベント開催支援による交流人口(参加者)数	平成28～30年度で合計7,500人以上	平成28年度から新規実施	0人 (未実施)	0人 (未実施)		
実施計画における年次計画	①機能集約型まちづくり推進事業					
	H28年度	H29年度	H30年度			
	機能集約型市街地の形成					
	都市構造の調査・分析 居住動態の調査・分析 誘導施策の立案			都市機能の誘導	居住の誘導	新都市計画マスタープラン に向けた調査・検討
②道路空間利活用推進事業						
H28年度	H29年度	H30年度				
定禅寺通り活用（オープンカフェ等実施）						
③ストック活用型都市再生推進事業						
H28年度	H29年度	H30年度				
リノベーションスクールの開催			成果を踏まえたあり方検討			
④若林区役所と薬師堂駅を基軸とした賑わい創出事業						
H28年度	H29年度	H30年度				
薬師高砂堀通りの魅力と賑わいづくり						
高砂堀紹介による若林の特長を感じる空間づくり						
空き家等を活用したまちづくり検討						

⑤郊外居住地域における暮らしの環境形成事業

H28年度	H29年度	H30年度
調査	対応の方向性検討	

⑥まち再生・まち育て活動支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
地域主体のまちづくり活動の支援		

個別事業名	H29年度の主な実績	進捗状況
①機能集約型まちづくり推進事業	・都市構造及び居住動態の調査・分析を実施	○
②道路空間利活用推進事業	・オープンカフェ等のイベントを実施(一番町・中央通, 泉中央, 定禅寺通)	○
③ストック活用型都市再生推進事業	・せんだいリノベーションまちづくりセミナーの開催(計4回) ・せんだいリノベーションスクール(実践型ワークショップ)の開催(計2回)	○
④若林区役所と薬師堂駅を基軸とした賑わい創出事業	・薬師高砂掘通りのベンチ脇にフラワーポット14基を設置、花の植え込み作業を実施(参加者数21人) ・薬師高砂掘通りに案内板・掲示板を設置(計3基) ・「薬師堂駅・薬師高砂掘通り周辺地域での地域交流拠点づくりの可能性を探る勉強会」を開催(参加者数18人) ※平成29年度は薬師高砂掘通りの賑わいづくりイベントの開催なし	△
⑤郊外居住地域における暮らしの環境形成事業	・既存住宅の流通促進に向けた活用セミナーを実施(八木山地区、2回) ・「仙台市郊外住宅地・西部地区まちづくりプロジェクト」を新たに実施し、郊外住宅地におけるまちづくりの取り組みへの支援を実施(鶴が丘地区、高森東地区、中山地区)	○
⑥まち再生・まち育て活動支援事業	・荒井東地区の荒井東1号公園において、地元まちづくり団体が都市利便増進協定に基づき維持管理を行う運動広場と管理施設「SPiA」が供用開始(平成29年9月) ・荒井駅前広場の利活用や維持管理手法等の検討に向け、エリアマネジメント可能性検討調査を実施	○
主な課題及び今後の対応	<p>【道路空間利活用推進事業】 道路空間を利用した地域活動の活性化に向け、関係者や地域との調整・連携を図りながら引き続き地域活動を支援していく。定禅寺通については、自動車交通量や沿道土地利用の状況等を踏まえた利活用方策の検討を進める。</p> <p>【ストック活用型都市再生推進事業】 遊休不動産を所有する不動産オーナーや起業を目指す方々へ、リノベーションまちづくりに関する情報発信に加え、まちづくりに携わる意欲のある人材の発掘・育成を図るための実践型ワークショップ等を開催する。</p> <p>【若林区役所と薬師堂駅を基軸とした賑わい創出事業】 地域を知る勉強会を継続するとともに、これまで企画検討してきた薬師高砂掘通りの賑わいづくりのイベントを開催する。また、中長期的な当該地域のまちづくりに向け、引き続き地域との意見交換等による地域ニーズの把握や関係NPO団体等の協力関係の構築に努めながら事業を推進する。</p> <p>【郊外居住地域における暮らしの環境形成事業】 郊外居住地域における暮らしの環境形成や、持続性確保に向け、既存住宅の流通促進に向けた取り組みや、地域の担い手が自発的に取り組む事業に対する支援を引き続き行う。</p> <p>【まち再生・まち育て活動支援事業】 荒井駅前広場においては可能性調査の結果も活用しながら、道路や民地との一体的な利活用や維持管理等について、実現に向けた支援を行う。</p>	

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

3. 自然と調和した持続可能な都市づくり

(4) 誰もが利用しやすく都市活力を高める交通基盤づくり

目標	高齢者や障害者などにもやさしい公共交通を中心とした交通体系を構築し、維持コストや環境負担の軽減、地域生活の安心や都市の成長などを重視した交通基盤の整備を進めます。																
総括	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。																
個別事業名	①新たな都市交通政策推進事業 ②公共交通利用促進事業																
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績													
				H28年度	H29年度	H30年度											
	地下鉄・路線バス・JR線の利用者数	平成28～30年度で各前年度実績より増加	平成27年度517千人/日	551千人/日	平成29年度569千人/日(概算値)												
実施計画における年次計画	①新たな都市交通政策推進事業																
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新たな都市交通政策検討・策定</td> <td colspan="2">各種施策の検討・実施</td> </tr> <tr> <td colspan="2">交通行動実態調査</td> <td>交通行動実態調査・分析</td> </tr> <tr> <td colspan="3">地域公共交通調査・検討</td> </tr> </tbody> </table>						H28年度	H29年度	H30年度	新たな都市交通政策検討・策定	各種施策の検討・実施		交通行動実態調査		交通行動実態調査・分析	地域公共交通調査・検討	
H28年度	H29年度	H30年度															
新たな都市交通政策検討・策定	各種施策の検討・実施																
交通行動実態調査		交通行動実態調査・分析															
地域公共交通調査・検討																	
	②公共交通利用促進事業																
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">運賃施策(100円均一、200円均一)の実施</td> </tr> <tr> <td colspan="3">モビリティ・マネジメント等の実施</td> </tr> </tbody> </table>						H28年度	H29年度	H30年度	運賃施策(100円均一、200円均一)の実施			モビリティ・マネジメント等の実施				
H28年度	H29年度	H30年度															
運賃施策(100円均一、200円均一)の実施																	
モビリティ・マネジメント等の実施																	

個別事業内容	個別事業名	H29年度の主な実績	進捗状況
	①新たな都市交通政策推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・せんだい都市交通プランの進捗状況の確認と課題の整理 ・交通行動実態調査の実施 ・地域における持続可能な公共交通の確保の検討に向けた基礎的資料の収集 	○
	②公共交通利用促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「地下鉄200円均一運賃」「東西線結節駅周辺バス100円均一運賃」を東西線開業時から継続的に実施 ・大学との協働により作成した交通情報マップを新入学生に配布し、公共交通での通学を促す「大学生モビリティマネジメント(MM)」を実施(6大学) ・転入者向けに公共交通情報を掲載した「せんだいスマートグッズ」を配布する「転入者MM」を実施(約2万2千部配布) ・公共交通利用促進施策の一環として、市職員を対象とした研修や啓発ポスターの掲示等を実施 	○
	主な課題及び今後の対応	<p>【新たな都市交通政策推進事業】 地域交通の確保にあたっては、市民の交通行動の分析などを実施していくとともに、平成30年4月から開始した「みんなでつくりよう地域交通スタート支援事業」により地域が取り組む地域交通の立ち上げを支援していくとともに、本市としての対応策の方向性を検討していく。</p> <p>【公共交通利用促進事業】 大学生MMを実施していない大学に対し、実施を働きかけるとともに、企業の従業員に対しても公共交通利用促進の働きかけを実施する。</p>	

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

4. 人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり

(1) 地域産業の飛躍と競争力の拡大

目標	本市経済を支える中小企業の競争力強化や商店街の魅力向上に資する取り組みを推進するほか、農工商連携、農業の6次産業化などを支援し、地域産業の振興を図ります。					
総括	個別の事業において進捗状況は異なるが、目標の達成に向け概ね着実に進捗している。					
個別事業名	①中小企業人材確保・育成事業 ②中小企業経営基盤強化事業 ③働く女性の活躍推進事業 ④雇用対策事業 ⑤中心部商店街活性化促進事業 ⑥農業経営体育成支援事業 ⑦農食ビジネス推進事業					
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績		
				H28年度	H29年度	H30年度
	中小企業展示商談会等によるマッチング件数	平成28～30年度で合計600件以上	平成26年度173件	240件	333件	
	認定農業者数	平成30年度で315経営体に増加	平成27年度269経営体	260経営体	258経営体	
	農地の集積・集約化における農地利用集積率	平成30年度で74%に増加	平成27年度68%	66%	68%	
	農食ビジネス商品開発支援における商品化・事業化支援件数	平成28～30年度で合計18件以上	平成27年度5件	6件	5件	
農工商連携・6次産業化支援案件等の売上高	平成30年度で平成27年度比6%増加	平成27年度約250百万円	30%増加	63%増加		
実施計画における年次計画	①中小企業人材確保・育成事業					
	H28年度	H29年度	H30年度			
	地元企業の魅力発信・若者への情報提供			▶		
	人材確保・育成・定着等の支援			▶		
	学生の地元定着・UIターン就職促進			▶		
	②中小企業経営基盤強化事業					
	H28年度	H29年度	H30年度			
	経営課題解決、経営革新・新事業展開の支援			▶		
	販路開拓支援			▶		
	支援拠点の整備			▶		
③働く女性の活躍推進事業						
H28年度	H29年度	H30年度				
(企業及び働く女性に向けた取り組み)						
女性活躍推進計画に基づく事業の実施			▶			
推進計画の実施状況のフォローアップ・公表			▶			
(事業主としての仙台市の取り組み)						
特定事業主行動計画に基づく事業の実施			▶			
行動計画の実施状況のフォローアップ・公表			▶			

④雇用対策事業

H28年度	H29年度	H30年度
	各種就業支援	

⑤中心部商店街活性化促進事業

H28年度	H29年度	H30年度
エリアマネジメント組織 設立支援	エリアマネジメント組織の自主運営支援	

⑥農業経営体育成支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
多様な農業経営体の育成・確保に向けた取り組みの実施		
地域農業経営再開復興支援		
農地の集積・集約化推進		
生産調整の推進		
女性農業者（アグリヒロイン）育成		
非主食用米の作付促進		

⑦農食ビジネス推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
農商工連携マッチング・販路拡大支援		
商品開発支援		
ブランド化モデル事業		
6次産業化人材育成・事業化支援		
地産地消推進		

個別事業内容	個別事業名	H29年度の主な実績	進捗状況
	①中小企業人材確保・育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「仙台で働きたい！フリーペーパー」発行(5回、計64,000部) ・「仙台で働きたい！イベント」の実施(保護者向けセミナー2回参加者計131人、学生向けイベント学生25人、じもと就職ガイダンス企業44社・来場者132人、事業者向けセミナー26人) ・WISE(学生による地元企業の魅力発信):学生記者27人、受入企業16社 ・UIターン合同企業説明会を開催(2回、参加企業43社、参加者61人) ・転職イベント(DODA)に出展(2回、相談者数92人) 	○
②中小企業経営基盤強化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・都市間連携で販路開拓を支援(連携9都市支援機関コーディネーター会議(仙台市)9社参加、第20回関西機械要素技術展(大阪府)3社出展、第3回IoT/M2M展 秋(東京都)5社出展) ・首都圏等への地域産品等の販路開拓を支援(第84回東京国際・デジタル・ギフトショー秋2017(東京都)5社出展、第52回スーパーマーケット・トレードショー2018(千葉県)6社出展) ・第4回新東北みやげコンテスト併設の商談会にて商談 79件 ・専門家による経営相談、専門家派遣などにより、中小企業の経営課題について解決を図った ・外部機関との連携を行いながら中小企業の事業承継を促すとともに、市独自の取り組みとして、次世代経営者の育成を行った 	○	

<p>③働く女性の活躍推進事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企業等における女性活躍促進に向けた協議会を開催 ・女性活躍を推進する企業等への支援として、「企業の未来プロジェクト2017」を実施(参加22社)、うち女性管理職候補育成研修「仙台女性リーダー・トレーニング・プログラム」には各社から女性計22名が参加 ・企業向け啓発事業として、働き方改革をテーマに事例紹介とワークショップを行うセミナーを開催(参加者延べ123名) ・働く女性向け啓発事業として、ロールモデル紹介等を行うセミナー・交流会等を開催(86名参加) ・市役所における女性のキャリアアップを支援するために「女性職員活躍応援セミナー」を開催(平成28年度と同様) 	<p>○</p>
<p>④雇用対策事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアコンサルティングを実施(304人) ・出前セミナー、キャリア相談を実施(18回) ・ジョブトライアルを実施(2回、参加事業所45社、参加者57名) ・合同企業説明会等を実施(5回、延べ570社、2,346人参加) ・事業復興型雇用創出助成金事業により311人の雇用を創出 	<p>○</p>
<p>⑤中心部商店街活性化促進事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中心部商店街活性化協議会の運営を支援 ・中心部商店街において賑わい向上に繋がるイベント等を試験的に実施 ・起業家のテストマーケティングの機会として、TRY6チャレンジShop&Café(Shop 8組、Café2組が出店、11,062名が来店)、まちくるマルシェ(延べ90日間開催)等を実施 	<p>○</p>
<p>⑥農業経営体育成支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認定新規就農者(11経営体) ・新規就農者小規模農業機械助成事業の実施(2件200千円) ・アグリヒロイン育成事業の実施(講座6回、受講者38人) ・集落営農組織の法人化支援(1組織、助成金額400千円) ・中間管理機構集積協力金(経営転協力金:21件5,335千円、地域集積協力金:2件1,296千円) 	<p>△</p>
<p>⑦農食ビジネス推進事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農商工連携新商品等開発支援事業により、新商品開発を支援し、好調な売れ行きを見せる(2件) ・六次産業化支援事業により、機材導入支援(2件)、マーケティング支援(1件)を実施 	<p>◎</p>
<p>主な課題及び今後の対応</p>	<p>【中小企業人材確保・育成事業】 地元中小企業の魅力を情報発信するとともに、若者の地元定着支援等の事業を実施する。また、地元大学等と連携し、地域に貢献できる人材の育成に取り組んでいく。</p> <p>【中小企業経営基盤強化事業】 新東北みやげコンテストについては受賞商品のさらなる販路開拓が課題である。コンテスト併設の商談会に会場するバイヤーを増やすとともに、仙台市内でコンテストの受賞商品の販売会を実施する。</p> <p>【働く女性の活躍推進事業】 参加企業から評価を得ている「企業の未来プロジェクト」をはじめ、地域の企業、経済団体等と連携しながら、企業等における女性活躍促進に向けて引き続き取り組むとともに、地元中小企業のニーズに合った女性役員候補育成プログラム開発を進める。</p> <p>【中心部商店街活性化促進事業】 中心部商店街活性化協議会の自主運営に向けた収益確保の取り組みに対して重点的に支援する。</p> <p>【農業経営体育成支援事業】 認定農業者等を増加させる取り組みと共に本市農業生産の中核となり、優れた経営感覚を有する農業経営者を育成するため「せんだい次世代農業経営者育成ゼミ」を実施するほか、担い手の経営充実や所得向上に向けた事業を行う。</p> <p>【農食ビジネス推進事業】 これまでの資金面での支援を継続するほか、専門家による経営診断や企画段階からの事業計画に対する助言の強化など、事業者の経営改善につながる支援を検討する。</p>	

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

4. 人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり

(2) 東北の交流人口の拡大への戦略的取り組み

目標	東北各地と連携し、観光やスポーツ・文化芸術など、多様な分野を融合させながら、圏域全体の集客力を高めるとともに、2020東京オリンピック・パラリンピックを契機とした本市の魅力向上と情報発信を進めます。					
総括	個別の事業において進捗状況は異なるが、目標の達成に向け概ね着実に進捗している。					
個別事業名	①コンベンション誘致事業 ②広域観光推進事業 ③観光プロモーション推進事業 ④西部地区観光振興事業 ⑤秋保ミュージアム環境整備支援事業 ⑥国際交流事業 ⑦インバウンド推進事業 ⑧東京オリンピック・パラリンピックを契機とした交流促進					
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績		
				H28年度	H29年度	H30年度
	国際会議開催件数	平成30年までに250件に増加	平成26年中80件	115件	134件 (暫定値)	
	観光客入込数	平成29年までに2,300万人に増加	平成27年22,293,853人	22,146,806人/年	22,001,714人/年	
	仙台西部地域観光客入込数	平成29年までに600万人に増加	平成27年5,780,629人	5,339,975人/年	5,484,056人/年	
	秋保地区への観光客入込数	平成29年までに247万人以上に増加	平成26年中224万人	246万人	254万人	
	国際姉妹・友好都市等への訪問及び訪問団受け入れ回数	平成28～30年度で合計20件以上	平成27年度6件	10件	12件	
外国人宿泊者数	平成30年までに11万人以上に増加	平成27年115,947人/年	128,450人/年	168,632人/年		

①コンベンション誘致事業

H28年度	H29年度	H30年度
国際会議等コンベンションの誘致		

②広域観光推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
仙台・福島・山形 三市観光・物産広域連携推進（域内観光素材やモデルルート紹介等）	※東北六市連携に移行予定	
東北六市連携事業		
教育旅行誘致の強化・域内観光素材やモデルルート紹介等		

③観光プロモーション推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
Webサイト・ガイドブック等様々な媒体による情報発信		
仙台・宮城伊達な旅キャンペーンなどの誘客プロモーション実施		

④西部地区観光振興事業

H28年度	H29年度	H30年度
観光資源開発（地域資源を活用した体験型観光の推進）		
魅力発信（Web・ガイドブック等様々な媒体による情報発信）		
秋保・作並定義・泉西部地域活性化事業補助金交付事業		

⑤秋保ミュージアム環境整備支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
新たな資源の発掘		
資源を活用した地域づくり（秋保地域活動のつどいの実施）		

⑥国際交流事業

H28年度	H29年度	H30年度
国際姉妹・友好都市等海外とのつながりを活かした魅力発信や国際理解促進等に関する事業の実施		
国際姉妹・友好都市等への訪問及び訪問回受け入れ		

⑦インバウンド推進事業


H28年度	H29年度	H30年度
海外へのプロモーション実施		
受入環境の整備、観光資源の発掘・磨き上げ		

⑧東京オリンピック・パラリンピックを契機とした交流促進

H28年度	H29年度	H30年度
対象国との交流計画策定		
キャンプ誘致及び各種文化・スポーツを通じた関連事業の開催		
動向調査・ホストタウン二次以降の登録検討		

個別事業名	H29年度の主な実績	進捗状況
①コンベンション誘致事業	<ul style="list-style-type: none"> ・バルセロナで開催された世界最大規模の海外MICE見本市であるIBTM World 2017に初出展し、PR及び商談を実施 ・「第49回国際PCO協会年次総会」に参加した海外会議運営会社等を対象に、仙台のPRセミナーを開催するとともに、仙台市内ホテルや仙台国際センターなど本市のコンベンション環境を視察するツアーを催行 ・MICEレベルアップセミナーの開催(3回)やコンベンションメールマガジンの発行(8回)を実施したほか、「Sendai Communication Fair in 仙台国際センター」を開催し、会議主催者と本市コンベンション関係企業との商談会や助成制度等の情報提供を実施 ・第90回日本整形外科学会学術総会(参加者数1万人)等の大規模な国際会議が開催されたことなどにより、国際会議の参加者数が目標値基準年(平成26年)の3万人から7.5万人に増加した。 	△
②広域観光推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「伊達な広域観光推進協議会」において教育旅行に焦点を当てたプロモーション活動を実施し、12校の教育旅行誘致を実現 ・「仙台・福島・山形三市観光・物産広域連携推進協議会」と連携し、東京での旅行代理店向けセミナーを実施 ・東北六市のネットワークを活用した取り組みとして、平成29年6月「東北絆まつり」を開催(来場者数45万2,000人)したほか、国内外から東北への誘客に向け、大手町・丸の内JAPAN市やタイで開催された旅行博への出展を実施 ・東北の被災四県や東北観光推進機構等と連携した「復興ツーリズム」を推進したほか、東北の観光案内所のネットワーク化(東北17都市20カ所)を実施 ・東北の魅力発信拠点として「LIVE+RALLY PARK.」を勾当台公園内に整備 	○
③観光プロモーション推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセプト型ガイドブック「週末仙台」の配布(仙台市観光情報センター、TIC東京) ・せんだい旅日和や伊達美味等のWebサイトを通じた情報発信 ・仙台・宮城【伊達な旅】キャンペーンの実施(夏7月～9月、冬12月～3月) ・首都圏七夕プロモーション実施(東京都内5カ所) ・仙台・青葉まつり(97.1万人)、仙台七夕まつり(178.6万人)、SENDAI光のページェント(281万人)を実施 ・観光客入込数については、目標未達ながら平成27年に過去最高となる約2,230万人を記録し、以降、継続して2,200万人台を維持している 	△
④西部地区観光振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ・西部地区の地域資源を活用した体験型観光の推進に向け、民間企業によるサイクルステーション設置(12カ所)を支援したほか、トレイルラン・マウンテンバイクのコース開発を実施 ・西部地区の体験型観光資源についてWebサイト・ポスター・チラシで情報発信 ・JR仙台駅において西部地区の魅力発信する観光展を開催 ・秋保・作並定義・泉西部地域活性化事業助成金交付事業を実施(22件、14,719千円助成) 	△
⑤秋保ミュージアム環境整備支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・秋保資源活用委員会の活動を支援(全10回) ・「いってみっぺ秋保」パンフの企画・作成(新規5コース) ・ガイドモニターツアー実施(自主ツアー3回、受託ガイド7回) ・大倉登山道整備及び看板設置 ・野尻旧足軽集落周遊環境整備 ・秋保地区地域活動のつどいを実施(参加者数36団体104人) 	○
⑥国際交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台国際ハーフマラソン大会国際姉妹都市等選手団の来仙 ・ダラス友好都市提携20周年記念公式訪問団の派遣 ・レンヌ姉妹都市提携50周年記念公式訪問団の派遣 ・レンヌ姉妹都市提携50周年記念公式訪問団の来仙 ・光州姉妹都市提携15周年記念公式訪問団・文化公演団の派遣 ・光州姉妹都市提携15周年記念公式訪問団・文化公演団の来仙 ほか6件 	○
⑦インバウンド推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・海外旅行博への出展、旅行会社・メディア等招請事業等を実施 ・外国人観光客向け観光案内拠点における体験型観光プログラムの充実 ・国・地域により動態や嗜好が異なることを考慮し、言語毎に表紙や特集ページの内容が異なる外国人観光客向けパンフレットを作成 	◎

個別事業内容

<p>⑧東京オリンピック・パラリンピックを契機とした交流促進</p>	<p>・イタリアバレーボール連盟、イタリアパラリンピック委員会を訪問するなど、キャンプ誘致活動を実施 ・青少年交流事業として、サッカーU19セリエB代表選手団を招聘し、本市高校生チームとの親善試合や震災遺構見学などを行ったほか、仙台U15女子選抜バレーボール選手団をイタリアへ派遣し、イタリア地元チームとの親善試合を実施 ・イタリア共和国の音楽、食文化、観光等を市民に紹介する交流事業「Amo ITALIA! (アーモ イタリア)」として民間イベントへのブース出展を実施</p>	
	<p>【コンベンション誘致事業】 国際会議の誘致・開催決定には数年間を要することから、G7財務大臣・中央銀行総裁会議等の開催実績を活用した知名度向上の取り組みを継続するとともに、仙台観光国際協会、仙台国際センター指定管理者、東北大学との連携強化によりコンベンション誘致を推進する。</p> <p>【広域観光推進事業】 東北六市の連携による「東北絆まつり」の開催や海外プロモーション等について継続して実施するとともに、観光案内所ネットワーク化事業については範囲を拡大するなど、様々な自治体との連携による東北の広域観光を推進する。また、東北の魅力発信拠点として整備した「LIVE+RALLY PARK.」において、東北の自治体の参画を得ながら、仙台のマーケットや発信力を活かした取り組みを行う。</p> <p>【観光プロモーション推進事業】 女性やシニア層などターゲットを絞り、それぞれの特徴やニーズに即した効果的な情報発信・プロモーションを実施する。</p> <p>【西部地区観光振興事業】 多様化する観光客のニーズを捉えた観光資源の検討を行うとともに、民間主導による体験型観光推進の動きとも連携しながら効果的な事業の展開を図る。</p> <p>【インバウンド推進事業】 国・地域により外国人観光客の動態や嗜好が異なることから、引き続き市場特性に応じたプロモーションを展開するとともに、「まち歩きツアー」など個人旅行者が楽しめる体験型コンテンツの磨き上げや、外国人観光客の受入環境整備の強化を図る。</p> <p>【東京オリンピック・パラリンピックを契機とした交流促進】 サッカー、バレーボール、ソフトボールのキャンプ誘致に向けた取り組みや青少年交流事業等を継続的に実施する。また、パラリンピック事前キャンプの誘致可能性について検討を進めるため、各種調査を実施する。</p>	

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

4. 人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり

(3) 未来への活力を創る産業の育成・誘致

目標	本市の人材力を生かし、次世代エネルギー関連事業や健康福祉事業など今後の成長産業の育成・誘致を推進し、本市の地域経済の自立的・長期的な発展と雇用の安定的な確保をめざします。					
総括	一部で予定を上回る成果を上げた事業があり、目標の達成に向け着実に進捗している。					
個別事業名	①起業支援事業 ②IT産業国際連携促進事業 ③産学連携推進事業 ④地域ウェルビーイング産業創出事業 ⑤企業立地促進事業 ⑥次世代エネルギー創出促進事業					
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績		
				H28年度	H29年度	H30年度
	市内開業率	平成29年までに全国1位	平成26年全国2位	平成28年全国2位	-	
	IT産業国際連携による人材育成プログラム参加者数	平成28～30年度で合計60人以上	平成27年度23人	20人	51人	
	グローバルラボ仙台コンソーシアム参加企業・コンテスト参加者によるアプリケーション・ITサービスのリリース件数	平成28～30年度で合計20件以上	平成27年度5件	4件	9件	
	産学連携推進支援による製品化・事業化件数	平成28～30年度で合計30件以上	平成27年度9件	11件	7件	
	フィンランド企業等とのウェルビーイング事業提携件数	平成28～30年度で合計12件以上	平成27年度3件	5件	6件	
	市内企業のウェルビーイング製品・サービス事業化件数	平成28～30年度で合計9件以上	平成27年度3件	5件	7件	
	市内企業誘致数	平成28～30年度で合計45件以上	平成26年度17件	26件	38件	
	エネルギーを切り口としたまちづくりに関する企業等との共同研究取組件数	平成28～30年度で合計3件以上	平成27年度5件	2件	1件	
実施計画における年次計画	①起業支援事業					
	H28年度	H29年度	H30年度			
	起業支援センター「アシ☆スタ」による起業支援の実施					
	起業家応援イベント、起業家の販路開拓支援イベントの開催					
②IT産業国際連携促進事業						
H28年度	H29年度	H30年度				
ゲーム及び課題解決型ITサービスを柱とした人材育成						
開発したサービスのプロモーション・実証事業への協力、資金調達を含む事業化の支援、海外展開支援						

③産学連携推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
	御用聞き企業訪問の実施	
	MEMS産業クラスター創生に対する支援	
	東北大学連携ビジネスインキュベーター（T-Biz）への支援	
	中小企業製品開発等への支援	

④地域ウェルビーイング産業創出事業

H28年度	H29年度	H30年度
	（フィンランドとの連携促進）	
	企業間連携の促進、共同プロジェクト等の実施	
	（地域企業のビジネス支援）	
	ビジネス開発委託事業、地域の協力事業所と連携した実証実験の実施	
	首都圏展示会への出展支援	
	フィンランド企業との商談支援	

⑤企業立地促進事業

H28年度	H29年度	H30年度
	企業誘致プロモーション実施	
	研究開発型企業の立地支援	
	企業立地促進に向けた助成	

⑥次世代エネルギー創出促進事業

H28年度	H29年度	H30年度
	（企業等との共同研究）	
	エネルギーを切り口としたまちづくりに関する共同研究の推進	
	（創エネルギー導入促進助成制度）	
	分散型エネルギー創出に向けた事業者等への助成	
	研究開発・実証実験施設の立地促進	
	（藻類バイオマス等研究開発の推進）	
	研究開発・実証実験等支援	

個別事業内容	個別事業名	H29年度の主な実績	進捗状況
	①起業支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・起業支援センターにおける相談（窓口相談件数1,175件、開業件数114件） ・起業家セミナー・起業家交流会を開催（39回、895人参加） ・起業家応援イベント「SENDAI for Startups! 2018」を開催（743人参加） ・起業家週間「SENDAI Entrepreneur Week 2018」を開催（25日間、1,547人参加） ・UIJターン起業促進イベント「TOHOKU IGNITION」を開催（5回、223人参加、ロボプロジェクト1件） ・社会起業啓発イベント「SENDAI Social Innovation Night」を開催（11回、377人参加） ・起業ワークショップを開催（21回、315人参加） ・社会起業家アクセラレーションプログラムを実施（12人選抜・支援） ・グローバルベンチャー創出・シードアクセラレーションプログラムを実施（15人支援） 	○
②IT産業国際連携促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成プログラムを実施。ゲーム部門は5作品をGoogle play、App Storeにリリース。IT部門は4作品をアプリコンテストDA・TE・APPS！2018で披露。育成には市内7社が関与 ・企業支援プログラムを実施（海外展開支援2件、海外企業とのマッチング支援1社、首都圏展示会出展1回、アプリコンテストにおける学生とのマッチング1回） 	○	

③産学連携推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・御用聞き型企業訪問事業を実施(企業訪問66回、寺子屋せんだい9回、人材育成セミナー3回) ・MEMS(微小電気機械システム)産業の創出に向けてマッチングフォーラムを開催 ・ものづくり中小企業の新事業展開支援を実施(製品開発補助金5件採択、クラウドファンディング活用支援事業1件採択) ・東北大学連携型起業家育成施設(T-Biz)支援(入居企業15社の賃料補助) ・東北大学IIS研究センター支援(地域企業新規事業売上高2億9千万円、新規雇用8名、競争的資金獲得2件) 	○
④地域ウェルビーイング産業創出事業	<ul style="list-style-type: none"> ・事業創成国際館への入居企業等を支援(日本側5団体、フィンランド側2団体) ・健康福祉サービス・機器開発委託業務を採択(5件) ・日本-フィンランド国際ビジネスの提携を支援(6件) ・市場投入製品・サービス件数(7件) 	○
⑤企業立地促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・企業立地促進助成金制度による企業立地(新規指定件数38件、雇用者数1,456人) ・民間投資促進特区制度(ものづくり及び情報サービス産業)による立地企業への支援(新規指定件数14件) 	◎
⑥次世代エネルギー創出促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・創エネルギー導入促進助成制度は、H28年度に指定した1件がH29年度より本格稼働した ・大学とともに共同研究を進めている藻類バイオマスについては、新たに民間事業者1社と協定を締結 	○
主な課題及び今後の対応	<p>【起業支援事業】 雇用創出力があり地域経済の活性化の核となる中核的起業家や、本市の産業集積の強みであるICT関連分野や大学の知財や研究成果を活用するベンチャー企業の育成を引き続き重点的に行う。</p> <p>【IT産業国際連携促進事業】 市内企業の多くは海外展開よりも国内展開を重視している。今後は、外部ベンチャーキャピタルの支援プログラムを活用しながら国内展開支援も行う。</p> <p>【地域ウェルビーイング産業創出事業】 介護現場の課題解決に向けて、CareTech(介護分野とICT分野の融合)に向けた取り組みを本格化し、ICT事業者の介護分野への新事業展開、介護現場でのICT活用による労働負担軽減や生産性向上の双方を推進していく。</p> <p>【企業立地促進事業】 仙台での人材採用も厳しさを増している状況であるが、企業の地方拠点設置の第一のニーズが人材の確保であることから、企業立地促進助成金制度及び民間投資促進特区制度の活用に加え、IT系人材育成の取り組みを強化し、企業立地を更に促進する。</p> <p>【次世代エネルギー創出促進事業】 創エネルギー導入促進に向けて、電力システム改革の動向等の情報収集に努めるとともに、事業者ヒアリングを通し、助成制度活用案件の掘り起こしを継続する。本市と共同研究協定を締結している事業者とは、事業展開の可能性等の協議を継続し、事業の具体化を図る。</p>	

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

4. 人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり

(4) 新たな都市軸の形成と活用

目標	地下鉄東西線の開業により生まれた新たな都市軸上の戦略的な重点地区について、地域特性に合わせた整備と機能の集積、活性化を図ります。																																																						
総括	一部で遅れが生じている事業があるが、目標の達成に向けて概ね着実に進捗している。																																																						
個別事業名	①鉄道駅周辺地区交通結節機能強化推進事業 ②東西線沿線まちづくり推進事業 ③荒井駅北土地区画整理事業 ④青葉山公園整備事業																																																						
実施計画における年次計画	<p>①鉄道駅周辺地区交通結節機能強化推進事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">▶▶▶ 仙台駅西口駅前広場地下通路・エレベーター等工事</td> </tr> <tr> <td colspan="3">▶▶▶ 岩切駅自由通路・エレベーター等工事</td> </tr> <tr> <td>▶▶▶ 南仙台駅エレベーター工事</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>▶▶▶ 道路特定事業計画策定</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">▶▶▶ 道路特定事業計画に基づくバリアフリー化（測量・設計・用地買収・工事）</td> </tr> <tr> <td colspan="3">▶▶▶ 駅アクセス道路整備（測量・設計・用地買収・工事）</td> </tr> </tbody> </table> <p>②東西線沿線まちづくり推進事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">▶▶▶ 新たな土地利用に向けた課題解決相談・事業支援制度の紹介</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">▶▶▶ 土地利用事業の実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>③荒井駅北土地区画整理事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">▶▶▶ 調査・検討</td> </tr> <tr> <td colspan="3">▶▶▶ 地権者合意形成</td> </tr> </tbody> </table> <p>④青葉山公園整備事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td colspan="2">▶▶▶ （追廻地区整備）</td> </tr> <tr> <td colspan="3">▶▶▶ （仮称）公園センター等計画・設計及び整備</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">▶▶▶ （国史跡指定地区整備）</td> </tr> <tr> <td colspan="3">▶▶▶ 二の丸跡、長沼・五色沼等整備</td> </tr> </tbody> </table>	H28年度	H29年度	H30年度	▶▶▶ 仙台駅西口駅前広場地下通路・エレベーター等工事			▶▶▶ 岩切駅自由通路・エレベーター等工事			▶▶▶ 南仙台駅エレベーター工事			▶▶▶ 道路特定事業計画策定			▶▶▶ 道路特定事業計画に基づくバリアフリー化（測量・設計・用地買収・工事）			▶▶▶ 駅アクセス道路整備（測量・設計・用地買収・工事）			H28年度	H29年度	H30年度	▶▶▶ 新たな土地利用に向けた課題解決相談・事業支援制度の紹介				▶▶▶ 土地利用事業の実施		H28年度	H29年度	H30年度	▶▶▶ 調査・検討			▶▶▶ 地権者合意形成			H28年度	H29年度	H30年度		▶▶▶ （追廻地区整備）		▶▶▶ （仮称）公園センター等計画・設計及び整備				▶▶▶ （国史跡指定地区整備）		▶▶▶ 二の丸跡、長沼・五色沼等整備		
H28年度	H29年度	H30年度																																																					
▶▶▶ 仙台駅西口駅前広場地下通路・エレベーター等工事																																																							
▶▶▶ 岩切駅自由通路・エレベーター等工事																																																							
▶▶▶ 南仙台駅エレベーター工事																																																							
▶▶▶ 道路特定事業計画策定																																																							
▶▶▶ 道路特定事業計画に基づくバリアフリー化（測量・設計・用地買収・工事）																																																							
▶▶▶ 駅アクセス道路整備（測量・設計・用地買収・工事）																																																							
H28年度	H29年度	H30年度																																																					
▶▶▶ 新たな土地利用に向けた課題解決相談・事業支援制度の紹介																																																							
	▶▶▶ 土地利用事業の実施																																																						
H28年度	H29年度	H30年度																																																					
▶▶▶ 調査・検討																																																							
▶▶▶ 地権者合意形成																																																							
H28年度	H29年度	H30年度																																																					
	▶▶▶ （追廻地区整備）																																																						
▶▶▶ （仮称）公園センター等計画・設計及び整備																																																							
	▶▶▶ （国史跡指定地区整備）																																																						
▶▶▶ 二の丸跡、長沼・五色沼等整備																																																							

	個別事業名	H29年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①鉄道駅周辺地区交通結節機能強化推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台駅東口の観光・送迎バス乗降場における利用実態調査を実施(1回) ・仙台駅西口駅前広場再整備工事を引き続き実施(バスプール地下通路) ・岩切駅自由通路等整備工事を実施(橋上駅舎・自由通路) ・道路のバリアフリー化のため、道路特定事業計画を策定(北仙台地区)、市道青葉山線(都心地区)の歩道拡幅及び勾配改善を実施 	○
	②東西線沿線まちづくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台工業団地の市内移転先の確保に向けた農政・都市計画手続きや跡地利用の計画検討などへの支援を実施 ・大規模土地所有者や開発事業者等に対し、企業立地促進助成制度や沿線の開発動向の情報提供を行うなど、駅周辺地区における土地利用転換や高度利用の促進に向けた働きかけを実施 ・東西線沿線の魅力や情報を伝えるパンフレットを市内宿泊施設や集客施設等への配架したほか、教育旅行セミナー等で配布 	○
	③荒井駅北土地区画整理事業	<ul style="list-style-type: none"> ・荒井駅北組合設立準備委員会 解散(平成29年4月) 	×
	④青葉山公園整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・青葉山公園(仮称)公園センターについて、基本計画策定、公募型プロポーザル審査委員会を経て基本設計業務委託業者を決定したほか、基盤整備工事に着手 ・国史跡指定地区について、長沼・五色沼・二の丸跡整備工事が完了 	○
主な課題及び今後の対応	<p>【東西線沿線まちづくり推進事業】 仙台工業団地の市内移転に関する協同組合の取り組みへの支援を継続する(平成30年5月に移転先の市街化区域編入)。</p> <p>【荒井駅北土地区画整理事業】 今後は、地元での合意形成が図られた段階で事業手法も含め改めて検討する。</p> <p>【青葉山公園整備事業】 事業地内(追廻地区)に居住している2区画の移転が未了であり、移転未了の居住者に対し、十分な説明を行うとともに法的措置による早期解決を図る。(仮称)公園センターの整備については、平成30年度に実施設計に着手する。</p>		

重点事業 自己評価シート

Ⅱ 復興まちづくりを進める3つの政策方針

1. 暮らしや経済の再建に向けた取り組み

目標	被災された方々への住まいの再建支援、暮らし、健康に対する長期的な支援を引き続き実施するとともに、経済・農業の復興に向けた取り組みや都市基盤の再整備、美しく安全・安心な海辺の復元を進めます。					
総括	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。					
個別事業名	①被災者生活再建支援事業 ②被災者の健康支援 ③津波浸水区域における住宅再建支援事業 ④東部地域農業生産基盤整備事業 ⑤蒲生北部地区復興再整備事業 ⑥仙台港周辺地区復興支援事業 ⑦東部地域移転跡地利活用推進事業 ⑧ふるさとの杜再生プロジェクト ⑨海岸公園再整備事業 ⑩海辺のふる里づくり支援事業 ⑪六郷東部地区現地再建まちづくり					
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績		
				H28年度	H29年度	H30年度
	市内被災世帯における仮設住宅退去済み世帯及び住まいの再建可能世帯の割合	平成28年度末で 100%	平成27年末 88%	100%	—	
	市外被災世帯における仮設住宅退去済み世帯及び住まいの再建可能世帯の割合	平成30年度末で 99%	平成27年末 74%	93.0%	98.2%	
	東部地域ほ場整備率 ※対象約1,900ha	平成30年度末で 100%達成	平成27年度 20%	50%	66%	
	蒲生北部地区における使用収益を開始する宅地面積	平成30年度で 合計34.1ha	平成27年度 0ha	10.3ha	12.1ha	
	仙台港周辺地区における復興特区の新規指定件数	平成28～30年度 で合計15件	平成27年度 3件	5件	2件	
	仙台港コンテナ貨物取扱量	平成30年中で 257千TEU	平成27年中 224千TEU	246千TEU	258千TEU	
海岸公園の災害復旧と避難の丘整備	平成29年度末までに整備完了	—	・海岸公園の災害復旧(蒲生・荒浜・井土地区) ⇒蒲生・荒浜地区復旧完了 ・避難の丘整備(蒲生・荒浜・井土・藤塚地区) ⇒全地区(計4基)整備完了	海岸公園の災害復旧 ⇒井土地区復旧完了 (蒲生・荒浜地区利用再開)		

①被災者生活再建支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
各種生活再建支援 【市内被災世帯】		
各種生活再建支援【市外被災世帯】		

②被災者の健康支援

H28年度	H29年度	H30年度
健康支援・健康講座開催・コミュニティ支援		

③津波浸水区域における住宅再建支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
津波浸水予測区域からの住宅の移転再建に関する補助金の交付		
津波被災宅地防災対策に関する補助金の交付		
津波被災地域住宅再建の促進に関する補助金の交付		

④東部地域農業生産基盤整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
ほ場整備工事		

⑤蒲生北部地区復興再整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
移転補償		
土地区画整理工事、換地の引き渡し・保留地販売		

⑥仙台港周辺地区復興支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
仙台港利用促進に向けた各種事業の推進		
蒲生北部地区市有地利活用の促進（誘致活動）		
産業集積に向けた助成金の交付・復興特区制度の活用		

⑦東部地域移転跡地利活用推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
土地利用のアイデア募集 跡地利活用方針の決定企画提案の公募	企画提案者との条件協議 跡地利活用条件の確定	利活用事業者の決定 必要となる基盤整備

⑧ふるさとの杜再生プロジェクト

H28年度	H29年度	H30年度
市民植樹の継続開催		
市民参加による維持管理の実施		
支援の受け入れ（基金・苗木）		

⑨海岸公園再整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
蒲生・荒浜地区再整備		
井土地区再整備		
避難の丘植栽整備		

⑩海辺のふる里づくり支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
	ふる里づくり専門家の派遣	
	ふる里づくり活動への助成	
みんなの家移築	交流施設運営	
	インフラ整備の推進	

⑪六郷東部地区現地再建まちづくり

H28年度	H29年度	H30年度
まちづくり計画アクションプラン策定支援	交流促進支援	
東六郷コミュニティ・センター、東六郷小学校跡地の利活用の検討		
地域行事等を担う人材の育成		
地域主体の健康づくりへの支援		
道路補修工事		

個別事業内容	個別事業名	H29年度の主な実績	進捗状況
	①被災者生活再建支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 生活再建支援員の戸別訪問等による再建支援(403世帯) 借上げ公営住宅等への見守り支援(延べ訪問件数92件、うち面談件数28件) 民間賃貸住宅での再建が困難な世帯に対する伴走型支援(転居決定11件、延べ相談件数804件) ひとり暮らし高齢者等生活支援システムの設置(246世帯) 住宅再建相談会の開催(2回、相談件数18件) 総合相談会の開催(2回、相談件数56件) 復興公営住宅孤立防止対策フォローアップ訪問(882世帯) 	○
	②被災者の健康支援	<ul style="list-style-type: none"> 家庭訪問や電話などによる健康調査・健康相談の実施(合計4,908世帯、9,285件) 保健福祉センター、総合支所保健福祉課で健康講座などを開催(開催回数:297回、参加者:3,881人) 復興公営住宅等入居者に対する健康情報等の発行(1,257部) 	○
	③津波浸水区域における住宅再建支援事業	<p>住宅再建に向けた支援を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 区域Aの移転住宅再建補助金(4件) 区域Aの宅地防災対策補助金(1件) 区域A・Bの現地住宅再建(建替)補助金(5件) 区域A・Bの現地住宅再建(修繕)補助金(14件) <p>※区域Aとは、様々な津波防災施設整備後も、なお津波による浸水が予測される区域で「移転対象地区」を除く区域。区域Bとは、津波被害を受けた地域のうち、「区域A」および「移転対象地区」を除く区域</p>	○
	④東部地域農業生産基盤整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 対象約1,900haのうち約1,250ha整備完了(平成29年度は約310haを整備) 通年施行に伴う休耕補償の実施(支払件数:272件、支払金額:148,498千円) 	○
	⑤蒲生北部地区復興再整備事業	<p>土地区画整理事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用収益開始(12.1ha) 移転補償契約(建物35戸、工作物45件、占有者13件) 保留地処分済(計15,209㎡) 	○
	⑥仙台港周辺地区復興支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 民間投資促進特区(ものづくり)認定と企業立地促進助成金制度による仙台港地区の立地企業への支援 仙台国際貿易港整備利用促進協議会による港湾利用促進事業を実施。 蒲生北部地区市有地利活用における立地協定(第1回募集分:7画地、計169,201㎡)を締結。また、第2回事業者募集(2画地、計9,716㎡)を開始。 	○

⑦東部地域移転跡地利活用推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 外部の専門家を含めた委員会による評価・選定結果をふまえ、荒浜・南蒲生・新浜・井土の4地区において事業を行う8事業者を「事業候補者」として決定 	○
⑧ふるさとの杜再生プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 市民植樹を実施(海岸公園岡田(旧蒲生)地区:約230人参加、海岸防災林荒浜字南官林地区:約400人参加) 維持管理として育樹会の実施(海岸公園岡田(旧蒲生)地区:57人参加、海岸公園荒浜地区:47人参加) 仙台ふるさと応援寄附(ふるさとの杜再生)の受け入れ(5,367千円) 市民協働による「仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議」を6回実施 	○
⑨海岸公園再整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 荒浜地区(パークゴルフ場23ホール)、岡田(旧蒲生)地区(野球場6球場、テニスコート10面)の利用再開 井土地区(ディキャンプ場54区画、馬術場)災害復旧工事完了 	○
⑩海辺のふる里づくり支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 新浜町内会及び南蒲生町内会に対し、「ふる里づくり専門家」を派遣、再建した集会所を活用したコミュニティ活性化等の活動へ必要経費を助成 福田町南1丁目公園仮設住宅地内から移築された「みんなの家」の管理を新浜町内会に委託し、住民主体の交流施設として活用 	○
⑪六郷東部地区現地再建まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 「六郷東部ふるさと交流祭」の実施を支援し、住民と多様な主体との交流促進を支援(参加者数約250人) 東六郷小学校跡地について、コミュニティ広場としての利活用に向けて測量及び基本設計を実施 「旧東六郷小学校校舎を送る会」を開催し、地域行事等を担う人材を育成(参加者数約100人) 市道種次中斉線外1線 舗装補修(361㎡ 3,030千円) 市道広町中斉線 津波避難経路(405m 2,643千円) 市道井土藤塚1号線 津波避難経路(470m 3,998千円) 	○
<p>主な課題及び今後の対応</p>	<p>【被災者生活再建支援事業】 平成30年4月1日時点で、市外被災世帯のうち、仙台市内の仮設入居世帯数は313世帯となっており、このうち約3/4が仙台市内での再建を希望している。これらの世帯が、仮設供与期限までに円滑な再建へとつながられるよう、被災元自治体の復興事業等の進捗状況や被災元自治体独自の支援制度等の情報提供を行うほか、再建に向けた支援についても被災元自治体と連携して対応する。</p> <p>【被災者の健康支援】 個別健康支援に加え、運動教室の開催、地域のサロン活動への誘導やサロン活動支援など、地域コミュニティ支援を合わせて実施する。</p> <p>【仙台港周辺地区復興支援事業】 引き続き、本市助成金制度や復興特区制度により、蒲生北部地区への産業集積を図り、同地区市有地の事業者募集等の手続きを進めるとともに、仙台国際貿易港整備利用促進協議会における各種事業の実施等により、仙台港の利用促進を図る。</p> <p>【東部地域移転跡地利活用推進事業】 空きブロックについては二次募集を平成30年度中に実施する予定である。</p> <p>【ふるさとの杜再生プロジェクト】 国による海岸防災林の基盤整備工事が完了したことから、地区ごとの植樹実施者を公募し決定する。</p> <p>【海辺のふる里づくり支援事業】 新浜町内会、南蒲生町内会に対し、引き続き「ふる里づくり専門家」を派遣し、策定したまちづくりアクションプランの実施に向けた検討を進める。</p> <p>【六郷東部地区現地再建まちづくり】 交流促進支援については、自立化に向け、企画・実施体制強化についても支援を行う。鎮魂の花火を継続して実施するとともに、新たな交流の場として「夏祭り」を開催する。また、はつらつ運動教室から立ち上がった介護予防運動自主グループが活動を継続できるよう支援する。</p>	

重点事業 自己評価シート

Ⅱ 復興まちづくりを進める3つの政策方針

2. 安全・安心確保の取り組み

目標	津波により被害を受けた東部地域の津波防災対策をはじめとする安全・安心確保の取り組みを進めるとともに、震災の経験と教訓を活かした防災・仙台モデルの構築を図ります。																									
総括	一部で遅れが生じている事業があるが、目標の達成に向けて概ね着実に進捗している。																									
個別事業名	①帰宅困難者対策事業 ②東部復興道路整備事業 ③緊急輸送道路防災対策事業 ④津波避難施設整備事業 ⑤消防ヘリコプター活動拠点復旧整備事業																									
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績																						
				H28年度	H29年度	H30年度																				
	帰宅困難者一時滞在所の滞在可能人数	平成30年度末 仙台駅周辺 11,000人以上 長町駅周辺 2,000人以上 泉中央駅周辺 1,000人以上 を確保	平成26年度末 仙台駅周辺 8,500人 長町駅周辺 2,000人 泉中央駅周辺 0人	仙台駅周辺 9,610人 長町駅周辺 2,000人 泉中央駅周辺 0人	仙台駅周辺 11,150人 長町駅周辺 2,000人 泉中央駅周辺 1,000人																					
	かさ上げ道路の整備	平成30年度に整備完了	-	用地買収 工事施工	用地買収 工事施工																					
	避難道路の整備	平成30年度に整備完了	-	用地買収 工事施工	用地買収 工事施工																					
	避難経路の整備	平成30年度に整備完了	-	測量設計 工事施工	測量設計 工事施工																					
	緊急輸送道路における橋梁(20橋)の耐震補強	平成30年度末までに16橋完了	平成27年度末 0橋	1橋 (累計:1橋)	0橋 (累計:1橋)																					
	緊急輸送道路におけるのり面(19箇所)の落石対策	平成30年度末までにすべて完了	平成27年度末 5箇所	2箇所 (累計:7箇所)	6箇所 (累計:13箇所)																					
	津波避難施設の整備	平成28年度に整備完了	-	整備完了	-																					
消防ヘリコプターの活動拠点の整備	平成29年度に整備完了	-	基礎工事実施	整備完了																						
実施計画における年次計画	①帰宅困難者対策事業																									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">一斉帰宅抑制の啓発</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">一時滞在所の確保</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">帰宅支援ステーションの展開</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">仙台駅周辺帰宅困難者対策等連絡協議会の運営・対応訓練の実施</td> </tr> </tbody> </table>						H28年度	H29年度	H30年度	一斉帰宅抑制の啓発			一時滞在所の確保			帰宅支援ステーションの展開			仙台駅周辺帰宅困難者対策等連絡協議会の運営・対応訓練の実施							
H28年度	H29年度	H30年度																								
一斉帰宅抑制の啓発																										
一時滞在所の確保																										
帰宅支援ステーションの展開																										
仙台駅周辺帰宅困難者対策等連絡協議会の運営・対応訓練の実施																										
②東部復興道路整備事業																										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(かさ上げ道路、避難道路)</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">用地取得</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">整備工事</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(避難経路)</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">測量・設計・用地取得</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">整備工事</td> </tr> </tbody> </table>						H28年度	H29年度	H30年度	(かさ上げ道路、避難道路)			用地取得			整備工事			(避難経路)			測量・設計・用地取得			整備工事		
H28年度	H29年度	H30年度																								
(かさ上げ道路、避難道路)																										
用地取得																										
整備工事																										
(避難経路)																										
測量・設計・用地取得																										
整備工事																										

③緊急輸送道路防災対策事業

H28年度	H29年度	H30年度
	橋梁耐震補強工事	
	落石対策工事	
	路面下空洞対策工事	

④津波避難施設整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
本体整備工事	施設維持管理	
避難場所標識設置工事		

⑤消防ヘリコプター活動拠点復旧整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
庁舎・格納庫等建設工事		

個別事業内容	個別事業名	H29年度の主な実績	進捗状況
	①帰宅困難者対策事業	<ul style="list-style-type: none"> 一時滞在場所について、仙台駅周辺で新たに10施設1,540人分、泉中央駅周辺で新たに2施設1,000人分を確保 仙台駅周辺帰宅困難者対策連絡協議会において、帰宅困難者対応訓練を実施 仙台市内の大学に一斉帰宅抑制のチラシを配布(11大学、計1,930枚) 	○
	②東部復興道路整備事業	<ul style="list-style-type: none"> かさ上げ道路(用地買収:0.59ha、盛土工事着手:2.3km、盛土工事完成:0.7km) 避難道路(用地買収:0.02ha、道路工事着手:3.5km、道路工事完成:2.2km) 避難経路(測量設計5カ所完了、工事5カ所完了) 	△
	③緊急輸送道路防災対策事業	<ul style="list-style-type: none"> 茂庭大橋、太白大橋の耐震補強工事を実施し、茂庭大橋について工事完了 中山大橋ほか3橋の設計を実施 仙台村田線(大八上)ほか5カ所において、落石防護網設置などの落石対策を実施 	△
	④津波避難施設整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度までで整備予定の13施設全てが完成 	○
	⑤消防ヘリコプター活動拠点復旧整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 航空隊庁舎及びヘリコプター格納庫等の建設工事完了(平成30年4月1日運用開始) 	○
主な課題及び今後の対応	<p>【帰宅困難者対策事業】 帰宅困難者とならないための一斉帰宅抑制について、引き続き啓発を行う。また、緊急退避場所及び一時滞在場所の運営課題抽出と対策、環境改善等について、協議会での検討や訓練での実証を行い、マニュアル等への反映を行う。</p> <p>【東部復興道路整備事業】 かさ上げ道路の未取得用地(4件)について、30年度早期取得に努める。避難道路について、未取得用地(3件)がある区間は、避難道路としての機能を確保し整備を進める。</p> <p>【緊急輸送道路防災対策事業】 橋梁の耐震補強については、緊急度の高い重要な橋梁から着実に対策を進める。</p>		

重点事業 自己評価シート

Ⅱ 復興まちづくりを進める3つの政策方針

3. 震災の経験と教訓の継承・発信に向けた取り組み

目標	震災前の地域のくらしや文化、震災の被災状況や復旧・復興の過程を後世に伝え、本市や東北における震災の経験や知見を世界へ発信します。					
総括	個別の事業において進捗状況は異なるが、目標の達成に向け概ね着実に進捗している。					
個別事業名	①防災環境都市づくり推進事業 ②震災復興メモリアル事業 ③「東日本大震災 仙台市 復興五年記録誌※」の編さん ※(仮称)仙台市復興記録誌					
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績		
				H28年度	H29年度	H30年度
	仙台防災未来フォーラム及び関連行事への参加者数	平成30年度で2,600人に増加	平成27年度2,000人	2,100人	11,150人	
	国際会議における本市の防災・復興・環境の取り組みの年間発信件数	平成30年度で12件に増加	平成27年度6件	7件	10件	
	せんだい3.11メモリアル交流館来場者・利用者数	平成30年度で50,000人に増加	平成27年度30,000人	55,473人	60,043人	
	震災遺構の整備(荒浜小学校校舎)	平成28年度に整備完了	-	整備完了	(4月開館)	
「東日本大震災 仙台市 復興五年記録誌※」の編さん ※(仮称)仙台市復興記録誌	平成28年度中に発行	-	発行済	「東日本大震災 仙台復興のあゆみ」英語版を発行済		
実施計画における年次計画	①防災環境都市づくり推進事業					
	H28年度	H29年度	H30年度			
	(防災環境都市づくりプロモーション)					
	ニュースレター発行					
	広報ツール制作、活用					
	(国内外とのネットワーク構築・連携、国際会議での発言)					
	アジア防災閣僚級会議	国連防災グローバル・プラットフォーム会合	アジア防災閣僚級会議			
	みやぎ防災・減災円卓会議					
	(市民参加による普及啓発)					
	市民参加の防災フォーラム開催(毎年)					
②震災復興メモリアル事業						
H28年度	H29年度	H30年度				
震災遺構保存整備工事	一般公開					
せんだい3.11メモリアル交流館運営						
市中心部拠点施設検討			施設整備			
アーカイブのあり方検討	アーカイブシステム整備		アーカイブ発信			
③「東日本大震災 仙台市 復興五年記録誌」の編さん						
H28年度	H29年度	H30年度				
「(仮称) 仙台市復興記録誌」製作・発行						

	個別事業名	H29年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①防災環境都市づくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・42ヶ国・地域から産・官・学・民の防災関係者が集まる日本初の国際フォーラムである「世界防災フォーラム/防災ダボス会議@仙台」及び同時開催行事の実施(来場者数11,000人) ※「仙台防災未来フォーラム2018」の開催(テーマ「企業防災」、来場者数150人) ・国際会議でのプレゼンテーション、スピーチ、展示、パンフレット配布等 ・海外からの視察等受入(47件) ・ニュースレター(市民向け・海外向け)、パンフレット「防災環境都市・仙台」発行 	◎
	②震災復興メモリアル事業	<ul style="list-style-type: none"> ・震災遺構荒浜小学校の一般公開(平成29年4月30日公開。来館者数72,714人) ・震災遺構住宅基礎の保存エリア決定 ・せんだい3.11メモリアル交流館運営(4回の企画展や関連イベントの開催、各種団体の視察受入れ等) ・中心部メモリアル拠点施設整備に向けた有識者ヒアリングの実施 ・「震災アーカイブのあり方」の取りまとめ ・せんだいメディアテークにおける「3がつ11にちをわすれないためにセンター」において、映像2本、写真313枚、音9本を追加でウェブサイト公開。「星空と路」の展示・上映「タイトル・ルート・トタン-荒浜・藤塚と浪江の記録-」の展示を実施 	△
	③「東日本大震災 仙台市復興五年記録誌」の編さん	<ul style="list-style-type: none"> ・「Road to Recovery SENDAI」を発行(平成28年度に発行した「東日本大震災 仙台復興のあゆみ」英語版、5,000部)し、世界防災フォーラム等で配布 	○
主な課題及び今後の対応	<p>【防災環境都市づくり推進事業】 仙台防災未来フォーラム2019の開催に向けてより広い参加者層をターゲットとする企画を検討し、来場者の増加に努める。また、国連等との関係維持を図るため、防災・減災に係る本市主催イベントや各種取り組みについての情報提供を引き続き行う。</p> <p>【震災復興メモリアル事業】 「震災遺構仙台市立荒浜小学校」と「せんだい3.11メモリアル交流館」との連携により、市内外の小学校・各種団体の来場者数の維持・増加を図る。また、荒浜地区における住宅基礎の保存については平成30年度内の整備完了を目指す。 「中心部メモリアル拠点施設」については、有識者による検討委員会を設置し基本構想策定に向けた議論に着手する。 「震災アーカイブのあり方」を踏まえて引き続き震災記録の収集と利活用を進めるとともに、中心部メモリアル施設の検討状況をもとに「震災アーカイブのあり方」を逐次見直し、アーカイブの整備について検討を進める。 六郷東部地区地域モニュメントについて、平成30年度内の完成を目指す。</p>		

重点事業 自己評価シート

Ⅲ 都市像の実現に向けた4つの経営方針

1. 未来を創る市民力の拡大と新しい市民協働の推進

目標	<p>地域や社会に向け市民が力を発揮することで都市に活力が生まれ、コミュニティのきずなが強まるとともに、一人ひとりの自己実現や生きがいにつながります。自ら主体となって活動する市民が、さまざまな学びによって力を蓄え、地域で互いに支え合い、新しい価値の創出にチャレンジできる環境を整える必要があります。</p> <p>成熟社会における本市の持続的な発展を支えるためには、幅広い世代からなる個人や地域団体、NPO、企業等、多様な主体による知恵を集め、それぞれの得意分野を生かした協働を進めていくことが重要です。</p> <p>一人ひとりが輝く杜の都の実現をめざし、未来を創る市民力を育み広げ、都市の豊かさや暮らしの充実に多面的に生かす市民協働を推進します。</p>																																				
総括	全ての事業において、目標の達成に向けて着実に進捗している。																																				
個別事業名	<p>①多様な市民活動促進事業 ②まちづくり支援専門家派遣事業 ③新しい市民協働の仕組みづくり事業 ④区民協働まちづくり事業</p>																																				
実施計画における年次計画	<p>①多様な市民活動促進事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(仮称) 協働まちづくり推進実施計画に基づく事業の実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>②まちづくり支援専門家派遣事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">まちづくりアドバイザー派遣</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">まちづくりコンサルタント派遣</td> </tr> </tbody> </table> <p>③新しい市民協働の仕組みづくり事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">市民協働事業提案制度の運用、事業の実施</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">「新たな仕組み」の調査・検討</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">「新たな仕組み」事業実施</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">モデル事業</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(仮称) 協働まちづくり推進実施計画の策定</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">計画の進捗管理・見直し</td> </tr> </tbody> </table> <p>④区民協働まちづくり事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">市民と行政による各区まちづくり事業の実施</td> </tr> </tbody> </table>	H28年度	H29年度	H30年度	(仮称) 協働まちづくり推進実施計画に基づく事業の実施			H28年度	H29年度	H30年度	まちづくりアドバイザー派遣			まちづくりコンサルタント派遣			H28年度	H29年度	H30年度	市民協働事業提案制度の運用、事業の実施			「新たな仕組み」の調査・検討	「新たな仕組み」事業実施		モデル事業			(仮称) 協働まちづくり推進実施計画の策定	計画の進捗管理・見直し		H28年度	H29年度	H30年度	市民と行政による各区まちづくり事業の実施		
H28年度	H29年度	H30年度																																			
(仮称) 協働まちづくり推進実施計画に基づく事業の実施																																					
H28年度	H29年度	H30年度																																			
まちづくりアドバイザー派遣																																					
まちづくりコンサルタント派遣																																					
H28年度	H29年度	H30年度																																			
市民協働事業提案制度の運用、事業の実施																																					
「新たな仕組み」の調査・検討	「新たな仕組み」事業実施																																				
モデル事業																																					
(仮称) 協働まちづくり推進実施計画の策定	計画の進捗管理・見直し																																				
H28年度	H29年度	H30年度																																			
市民と行政による各区まちづくり事業の実施																																					

	個別事業名	H29年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①多様な市民活動促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動サポートセンターの運営(利用者数 63,913人、相談件数790件) ・「仙台ミラソン」を実施し、若者が地域課題の解決策を企画・立案するなどの社会参加を推進(学生参加者数:5チーム23人) ・「仙台若者アワード」を開催し、社会課題解決のための優れた活動をした若者の団体を表彰(27団体がエントリー) ・企業の社会貢献活動の促進の一環として、「マチノワ縁日」(参加者数延べ362人)及び「マチノワWEEK vol.2」(参加者数延べ1,126人)を開催 ・協働事例の共有や活動に役立つ情報提供を図るため、事例集「協働まちづくりの実践」及び「協働まちづくりの手引き」を作成 	○
	②まちづくり支援専門家派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりアドバイザーを派遣(11地区) ・まちづくりコンサルタントを派遣(1地区) 	○
	③新しい市民協働の仕組みづくり事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「市民協働事業提案制度」の実施(5事業を採択・実施)、平成30年度実施事業について4事業を採択候補事業に選定 ・「協働まちづくり推進助成事業」をモデル実施(4事業)、平成30年度事業として4事業を採択候補事業に選定 	○
	④区民協働まちづくり事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ほたるの里づくり事業(青葉区)、回文の里づくり事業(宮城総合支所)、地域はっぴい子育て支援事業(宮城野区)、六・七郷堀サポーターズ(若林区)、たいはく若者まちづくりフォーラム(太白区)、まつりだ秋保2017(秋保総合支所)、泉ヶ岳悠・遊フェスティバル(泉区)など、各区及び総合支所において、地域団体との協働により各種事業を実施 ・各区において、まちづくり活動助成を実施(青葉区11事業、宮城野区4事業、若林区7事業、太白区4事業、泉区3事業) 	○
主な課題及び今後の対応	<p>【まちづくり支援専門家派遣事業】 区役所等の関係各課や専門家との連携を高め、まちづくり支援専門家の幅広い分野での活用を目指す。</p> <p>【新しい市民協働の仕組みづくり事業】 「仙台市協働まちづくり推進プラン2016」に掲げる基本施策に関する事業について、目標の達成状況や新たな課題等を勘案し、平成30年度中に第2期プランを策定する。 「仙台市協働まちづくり推進助成事業」では、実施事業に対し、コンサルティングや専門家の派遣などのきめ細かな支援を行いながら、事業効果の向上を図っていく。</p> <p>【区民協働まちづくり事業】 まちづくり活動の担い手となる地域の人材発掘や、若い世代の参画を推進する仕掛けづくり及び助成終了後の活動のフォローアップについて検討を行う。</p>		

重点事業 自己評価シート

Ⅲ 都市像の実現に向けた4つの経営方針

2. 地域特性に応じたきめ細かな地域づくりの推進

目標	<p>東日本大震災を経験した地域、高齢化や人口減少が進む地域、人口が増加している地域など、地域活動の担い手の状況や地域団体間の連携の度合い、活動の頻度や種類など、地域ごとの状況や課題は多様化・複雑化しており、地域特性に応じた市民協働による地域づくりを推進していくためのきめ細かな支援が求められています。</p> <p>このため、区役所の「地域協働拠点」としての機能を強化するとともに、市役所全体が地域を重視した組織横断的な対応を強化するなど、地域の実情に応じた地域づくりを進めるための体制整備が必要です。</p> <p>市民の暮らしの基盤である地域社会を安心・快適でより良いものにするために、個々の特性に応じた課題や理念の共有のもと、市民協働による地域づくりを進めます。</p>																																																			
総括	全ての事業において、目標の達成に向けて着実に進捗している。																																																			
個別事業名	<ul style="list-style-type: none"> ①区役所のまちづくり拠点機能の強化 ②東西線沿線にぎわい推進事業 ③西部地区(青葉区)活性化事業 ④西部地区(太白区)活性化事業 ⑤西部地区(泉区)活性化事業 ⑥市民センターによる地域づくり支援事業 ⑦市民センター整備事業 ⑧コミュニティ・センター整備事業 																																																			
実施計画における年次計画	<p>①区役所のまちづくり拠点機能の強化</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">各区による地域の特性に応じた地域づくり事業の実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>②東西線沿線にぎわい推進事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">まちづくり人材育成とプロジェクトの実施</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">情報発信メディアの管理</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">まちづくり活動への助成</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">東北工業大学と連携した東西線沿線まちづくりの研究等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">沿線のにぎわいづくりのためのイベント等開催</td> </tr> </tbody> </table> <p>③西部地区(青葉区)活性化事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">ラサント駐車場整備</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">ラサントを拠点とした賑わい創出に向けた地域との連携・推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>④西部地区(太白区)活性化事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">地区活性化推進策・支援策検討</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">活性化に向けた取り組みの実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑤西部地区(泉区)活性化事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">自然体験会の開催</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">泉西部地区観光イベントの開催</td> </tr> </tbody> </table>	H28年度	H29年度	H30年度	各区による地域の特性に応じた地域づくり事業の実施			H28年度	H29年度	H30年度	まちづくり人材育成とプロジェクトの実施			情報発信メディアの管理			まちづくり活動への助成			東北工業大学と連携した東西線沿線まちづくりの研究等			沿線のにぎわいづくりのためのイベント等開催			H28年度	H29年度	H30年度	ラサント駐車場整備			ラサントを拠点とした賑わい創出に向けた地域との連携・推進			H28年度	H29年度	H30年度	地区活性化推進策・支援策検討			活性化に向けた取り組みの実施			H28年度	H29年度	H30年度	自然体験会の開催			泉西部地区観光イベントの開催		
H28年度	H29年度	H30年度																																																		
各区による地域の特性に応じた地域づくり事業の実施																																																				
H28年度	H29年度	H30年度																																																		
まちづくり人材育成とプロジェクトの実施																																																				
情報発信メディアの管理																																																				
まちづくり活動への助成																																																				
東北工業大学と連携した東西線沿線まちづくりの研究等																																																				
沿線のにぎわいづくりのためのイベント等開催																																																				
H28年度	H29年度	H30年度																																																		
ラサント駐車場整備																																																				
ラサントを拠点とした賑わい創出に向けた地域との連携・推進																																																				
H28年度	H29年度	H30年度																																																		
地区活性化推進策・支援策検討																																																				
活性化に向けた取り組みの実施																																																				
H28年度	H29年度	H30年度																																																		
自然体験会の開催																																																				
泉西部地区観光イベントの開催																																																				

⑥市民センターによる地域づくり支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
	住民参画・問題解決型学習の推進	
	子ども参画型社会の創造支援	
	若者社会参画型学習の推進	
	学びのまち・仙台市民カレッジの開催	
	学習情報の提供・収集	

⑦市民センター整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
若林区中央市民センター別棟改築工事		
	西多賀市民センター改築工事	
旭ヶ丘市民センター整備に向けた調査・検討	基本設計・実施設計	
根白石市民センター大規模修繕工事		
馬場市民センター大規模修繕 設計・工事		
山田市民センター大規模修繕 設計・工事		
将監市民センター大規模修繕 設計・工事		
	茂庭台市民センター大規模修繕 設計・工事	
	大沢市民センター大規模修繕 設計・工事	
		若林市民センター大規模修繕 設計
		幸町市民センター大規模修繕 設計

⑧コミュニティ・センター整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
東六郷コミュニティ・センター新築工事		
七郷六丁目コミュニティ・センター大規模修繕工事		
通町コミュニティ・センター大規模修繕工事		
台原コミュニティ・センター大規模修繕 設計・工事		
上野山コミュニティ・センター大規模修繕 設計・工事		
八幡コミュニティ・センター大規模修繕 設計・工事		
大和コミュニティ・センター大規模修繕 設計・工事		
	向山コミュニティ・センター大規模修繕 設計・工事	
	南材コミュニティ・センター大規模修繕 設計・工事	
	泉ヶ丘コミュニティ・センター大規模修繕 設計・工事	
	東仙台コミュニティ・センター大規模修繕 設計・工事	
		郡山コミュニティ・センター大規模修繕 設計
		北中山コミュニティ・センター大規模修繕 設計
		鶴巻コミュニティ・センター大規模修繕 設計
		太白コミュニティ・センター大規模修繕 設計

	個別事業名	H29年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①区役所のまちづくり拠点機能の強化	・平成29年度より各区・総合支所にふるさと支援担当が配置され、地域団体等との協働により、特定地域の困難課題解決のため「ふるさと底力向上プロジェクト」(10件)及びその他各区の地域特性に応じた事業等を実施	○
	②東西線沿線にぎわい推進事業	・まちづくり人材育成講座「WE SCHOOL」を開講(受講者数46人、プロジェクト10件実現) ・東西線沿線の活性化、東西線の利用促進につながる事業への助成(5事業、約68,000人集客) ・東北工業大学と連携した東西線沿線まちづくりの研究等を実施 ・東西線沿線の賑わい創出につながるイベント「WE QUEST+」「エキナカ大学」「あらかフェス」を開催、支援(約12,000人集客)	○
	③西部地区(青葉区)活性化事業	・作並観光交流館(ラサンタ)の運営・管理主体である作並振興協会が月1回企画調整会議を開催して、催事の企画充実、情報発信等を図り賑わいの創出に向けた各種イベントを企画・運営 ・山形県内の各市町村との連携等によって、賑わいの創出や地域活性化に向けた各種イベントを運営 ・施設修繕などの環境整備を実施	○
	④西部地区(太白区)活性化事業	・生出地区まちづくり委員会において、まちづくり専門家派遣制度を活用した勉強会を月1回開催し報告内容を取りまとめ ・坪沼地区ふるさと活性化研究会において、まちづくり専門家派遣制度を活用し、坪沼小学校の跡施設利用に関する検討を取りまとめ ・秋保体験観光創出支援事業として、「野尻いぐする会」の活動を支援し、集会所を拠点とする交流カフェ「ばんどころ」を開設 ・「仙台秋保そばフェス2017」を実施し、地域特産のブランド向上	○
	⑤西部地区(泉区)活性化事業	・泉かむりの里観光協会や地域住民等と連携・協力し、泉西部地区の交流人口拡大に向けた体験型観光やイベントを実施 ・定義古道体験(参加者数30人) ・リンゴ収穫体験(参加者数23人) ・座禅と精進料理体験(参加者数19人) ・泉ヶ岳ヒルクライム(参加者数211人) ・泉かむりの里伝承物語(来場者数1,300人) ・根白石おもしろ市(来場者数2,960人(年8回開催))	○
	⑥市民センターによる地域づくり支援事業	・「子ども」「若者」「成人」を対象に市民参画型事業を継続して実施するとともに、公開による成果報告会を開催 ・生涯学習情報、地域情報等の提供を継続して実施 ・「学びのまち・仙台市民カレッジ」について、「地域づくり支援講座」等を継続して実施したほか、受講者等が企画・運営を担う「市民プロデュース講座」を新たに開催	○
	⑦市民センター整備事業	・若林区中央市民センター別棟改築工事完了 ・西多賀市民センター改築工事中 ・旭ヶ丘駅前複合施設整備に向けた調査検討の実施 ・馬場市民センター、山田市民センター大規模修繕工事完了 ・大沢市民センター、茂庭台市民センター大規模修繕設計完了 ・将監市民センターは児童センター等との複合施設化を検討し、基本計画を策定	○
	⑧コミュニティ・センター整備事業	・八幡、大和、上野山コミュニティ・センター大規模修繕工事完了 ・東仙台、南材、向山、泉ヶ丘コミュニティ・センター大規模修繕設計完了 ・台原コミュニティ・センター大規模修繕工事、平成30年8月完成予定	○

<p>主な課題及び 今後の対応</p>	<p>【区役所のまちづくり拠点機能の強化】 ふるさと底力向上プロジェクト等について地域の自主的な事業継続に向けた支援のあり方を検討する。</p> <p>【東西線沿線にぎわい推進事業】 WE SCHOOL事業の内容の見直し及び卒業生によるプロジェクト実現へのフォローアップを図る。東西線沿線の地域活性化、利用促進につながる事業への助成、東西線沿線の賑わい促進を行う。</p> <p>【西部地区(青葉区)活性化事業】 作並観光交流センターの賑わい創出に向けた有効な施設活用方法を作並振興協会と共に検討する。また、作並・新川地区活性化協議会において地域活性化に向けた利活用の手法について検討する。</p> <p>【西部地区(太白区)活性化事業】 生出地区については、生出地区まちづくり委員会等関係団体と協議しながら、ふるさと底力向上プロジェクト等を活用して活動を支援する。坪沼地区については、坪沼小学校の跡施設利用の協議とともに、坪沼地域全体のビジョンを検討する。野尻地区については、持続的活動を行うために地元住民の自主性を尊重しながら、地区外からのサポート体制作りを推進する。</p> <p>【西部地区(泉区)活性化事業】 インバウンド獲得を含めた地域内外への情報発信に取り組むとともに、体験型観光による地域資源の認知度向上を図る。また、仙台西部の他地域との連携強化を進め、交流人口拡大と地域消費額の増加につなげる。</p>
-------------------------	---

重点事業 自己評価シート

Ⅲ 都市像の実現に向けた4つの経営方針

3. 地方の時代を先導する市役所への自己変革

目標	<p>時代の転換期にあつて、持続可能な都市の発展を支え、未来に責任を持つ都市経営を実現するためには、本市の資産である多様な主体の活動を広げるとともに、健全で持続可能な財政基盤の確立など、さまざまな面から市役所の自己変革を進めることが求められます。</p> <p>財政制約の強まる中、健全性を高める財政運営に向け、ガス事業の民営化を推進し、効率的な行政運営の実現をめざすとともに、人材の育成や職員の資質向上、意識改革、組織改革などを進めることが必要です。</p> <p>市民や東北の期待に応え、創造的な都市経営力を発揮しながら地方の時代を先導し、仙台の未来に責任を持つことができる市役所への自己変革を加速します。</p>
----	---

総括	全ての事業において、目標の達成に向けて着実に進捗している。
----	-------------------------------

個別事業名	<p>①ガス事業の民営化</p> <p>②人材育成機能・組織力の強化</p>
-------	--

実施計画における年次計画	①ガス事業の民営化	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;">H28年度</td> <td style="width: 33%;">H29年度</td> <td style="width: 33%;">H30年度</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">方向性に即したガス事業の展開</td> </tr> </table>	H28年度	H29年度	H30年度	方向性に即したガス事業の展開					
	H28年度	H29年度	H30年度								
	方向性に即したガス事業の展開										
	②人材育成機能・組織力の強化	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;">H28年度</td> <td style="width: 33%;">H29年度</td> <td style="width: 33%;">H30年度</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">事例研究・調査</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">人材育成等に向けた取り組みの実施</td> </tr> </table>	H28年度	H29年度	H30年度	事例研究・調査			人材育成等に向けた取り組みの実施		
H28年度	H29年度	H30年度									
事例研究・調査											
人材育成等に向けた取り組みの実施											

	個別事業名	H29年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①ガス事業の民営化	<ul style="list-style-type: none"> ・各般の経営改善の実施 ・本市域で事業展開を行う可能性があるエネルギー事業者等との意見交換を実施 	○
	②人材育成機能・組織力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・税務及び福祉の2分野で高い専門性を持つ職員を育成・配置するため、キャリア選択職員の公募を実施 ・能力評価の昇給反映は、課長職以上への反映を開始 ・業績評価の勤勉手当反映については、部長職以上で実施していたが、課長職への反映も開始 ・若手職員の仕事基礎力強化等の研修を実施 ・管理監督職向けに部下指導力向上等の研修を実施 ・市職員をNPO等市民活動団体に派遣する「協働推進人材育成事業～NPO留学してみませんか～」を実施(受入団体数14団体、研修参加者数20人) 	○
	主な課題及び今後の対応	<p>【ガス事業の民営化】 ガスの小売全面自由化による事業環境の変化やエネルギー事業者の動向等を的確に捉えながら、時期を逃さぬ対応を行う。</p> <p>【人材育成機能・組織力の強化】 新たな人事評価制度の適切な運用や、キャリア選択制度の継続実施など、適材適所の人員配置や職員の能力向上に向けた取り組みを進める。</p>	

重点事業 自己評価シート

Ⅲ 都市像の実現に向けた4つの経営方針

4. 公共施設の経営改革

目標	<p>高度成長期や政令指定都市移行時期に整備した庁舎や市民利用施設、廃棄物処理施設、公園、道路、地下鉄、上下水道など、幅広い分野にわたる数多くの施設が更新の時期を迎える中、中長期的な視点に立った公共施設の整備や維持管理が求められます。</p> <p>また、市民ニーズの多様化や財政制約の高まりの中で、新たなニーズへの現有施設を活用した対応や整備運営における民間活力活用の一層の促進、市民が担い手となる分野の拡大など、安定した公共施設運営に向けた取り組みが必要になっています。</p> <p>公共施設に関する総合的なマネジメントの仕組みを構築するとともに、その確実な推進のための組織横断的な体制を整備するなど市民ニーズに対応し安心して利用できる施設を将来にわたって持続的に提供できるよう、公共施設の総合的な管理・保全の強化や現有施設活用による経営改革を進めます。</p>																																																			
総括	全ての事業において、目標の達成に向け着実に進捗している。																																																			
個別事業名	<p>①公共施設総合マネジメント推進事業</p> <p>②スポーツ施設大規模修繕・改修事業</p> <p>③道路施設等長寿命化修繕事業</p> <p>④下水道改築更新事業</p>																																																			
実施計画における年次計画	<p>①公共施設総合マネジメント推進事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○施設の長寿命化の推進 (学校・市民センター等)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">改修設計→改修工事のサイクル (大規模施設等)</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">改修基本計画を策定の上、改修設計→改修工事のサイクル</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○インフラ系施設の長寿命化対策</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">分野ごとに整備計画を策定し、長寿命化対策を実施</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○施設の質・量の適正化</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">施設データの 一元的整備 検討体制の整備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">施設データの更新・活用、施設の将来のあり方検討</td> </tr> </tbody> </table> <p>②スポーツ施設大規模修繕・改修事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">計画的な大規模修繕・改修の実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>③道路施設等長寿命化修繕事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">対象施設の調査・点検</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">個別施設ごとの長寿命化修繕計画策定</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">対策工事</td> </tr> </tbody> </table> <p>④下水道改築更新事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">管きよの改築更新（設計・工事）</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">設備の改築更新（設計・工事）</td> </tr> </tbody> </table>	H28年度	H29年度	H30年度		○施設の長寿命化の推進 (学校・市民センター等)		改修設計→改修工事のサイクル (大規模施設等)			改修基本計画を策定の上、改修設計→改修工事のサイクル				○インフラ系施設の長寿命化対策		分野ごとに整備計画を策定し、長寿命化対策を実施				○施設の質・量の適正化		施設データの 一元的整備 検討体制の整備	施設データの更新・活用、施設の将来のあり方検討		H28年度	H29年度	H30年度	計画的な大規模修繕・改修の実施			H28年度	H29年度	H30年度	対象施設の調査・点検			個別施設ごとの長寿命化修繕計画策定			対策工事			H28年度	H29年度	H30年度	管きよの改築更新（設計・工事）			設備の改築更新（設計・工事）		
H28年度	H29年度	H30年度																																																		
	○施設の長寿命化の推進 (学校・市民センター等)																																																			
改修設計→改修工事のサイクル (大規模施設等)																																																				
改修基本計画を策定の上、改修設計→改修工事のサイクル																																																				
	○インフラ系施設の長寿命化対策																																																			
分野ごとに整備計画を策定し、長寿命化対策を実施																																																				
	○施設の質・量の適正化																																																			
施設データの 一元的整備 検討体制の整備	施設データの更新・活用、施設の将来のあり方検討																																																			
H28年度	H29年度	H30年度																																																		
計画的な大規模修繕・改修の実施																																																				
H28年度	H29年度	H30年度																																																		
対象施設の調査・点検																																																				
個別施設ごとの長寿命化修繕計画策定																																																				
対策工事																																																				
H28年度	H29年度	H30年度																																																		
管きよの改築更新（設計・工事）																																																				
設備の改築更新（設計・工事）																																																				

	個別事業名	H29年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①公共施設総合マネジメント推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「公共施設総合マネジメント推進本部会議」を開催(2回) ・「公共施設の『見える化』」の取組みについて、施設データの公表範囲を拡充(文化センター、スポーツ施設、社会教育施設等を追加)。 ・複合化のモデル地区に将監地区を選定。地域住民や施設利用者・管理者とのワークショップを4回開催し、複合施設の基本整備計画を策定 ・ネーミングライツ契約を更新(4件) ・学校や市民センターなど改修設計(17施設)、改修工事(17施設)を実施 ・大規模施設の改修について改修基本計画を策定(国際センターなど9施設) ・「仙台市市有建築物低炭素化整備指針」に基づき、改修設計・改修工事において仕様を反映(設計:17施設, 工事:17施設) ・バス営業所や整備工場などの自動車運送施設の現状確認を行い、改修・更新計画の素案を作成 ・地下鉄南北線土木構造物の劣化進行状況や健全度について詳細調査・試験により現状確認を行い、維持補修計画(個別施設計画)の策定に着手 	○
	②スポーツ施設大規模修繕・改修事業	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設全体の老朽化の程度等を踏まえ、長寿命化に向けた改修を実施(根白石温水プール、宮城広瀬体育館、シェルコムせんだい) 	○
	③道路施設等長寿命化修繕事業	<ul style="list-style-type: none"> ・定期点検を実施(橋梁270橋、トンネル5本、横断歩道橋7橋、ペDESTリアンデッキ2箇所、道路照明灯2,338基、共同溝5.6km、地下駐輪場3施設) ・長寿命化修繕計画の策定・公表(ボックスカルバート、道路案内標識・道路情報板) ・要対策施設について修繕工事を実施(橋梁23橋、トンネル2本、舗装5.4km) 	○
	④下水道改築更新事業	<ul style="list-style-type: none"> ・経年使用等により構造面・機能面で高いリスクを持つ下水道施設を優先的に改築更新することにより、下水道の機能維持を図るため、管さよの改築更新(着手4.6km)、設備の改築更新(広瀬川浄化センター、郡山ポンプ場、三居沢ポンプ場ほか)を実施 	○
主な課題及び今後の対応	<p>【公共施設総合マネジメント推進事業】 施設ごとに異なる制約条件や工程に配慮しつつ、個別施設の計画を着実に進める。</p> <p>【スポーツ施設大規模修繕・改修事業】 施設規模等に応じて、適宜、改修の事前に調査を行い、長寿命化改修を基本とした施設ごとの整備方針を定め、改修を実施する。</p> <p>【道路施設等長寿命化修繕事業】 今後も5年に1度の定期点検を継続し、点検が完了した施設から、順次、長寿命化修繕計画を策定するとともに、着実に対策を講じる。</p>		